

18日会・講演資料

高知の経済トピックについて

2025年8月19日



本日の構成

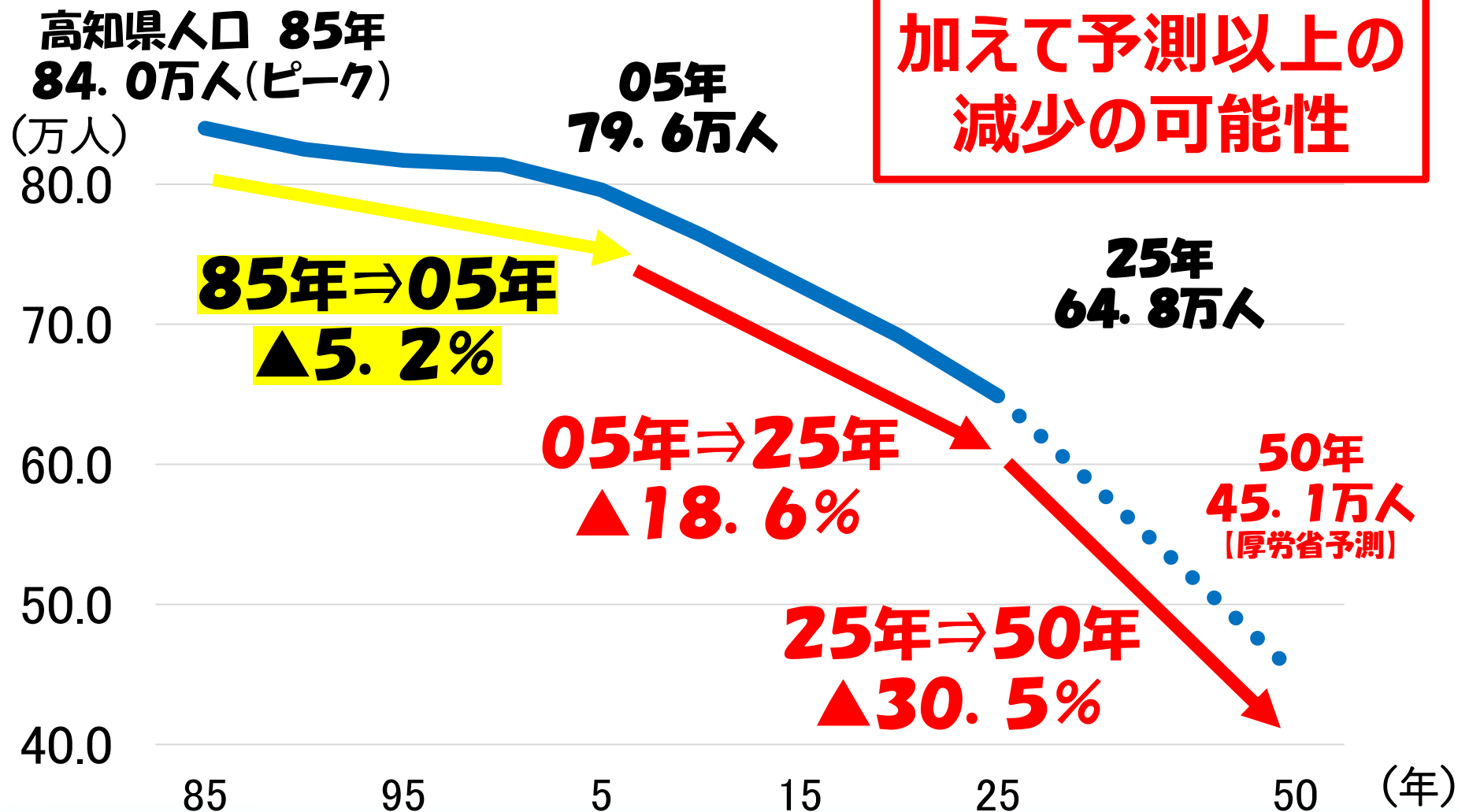
1. 人口

2. 産業構造

3. 観光

1.人口

①人口減少 ①急加速



(出典) 国勢調査、厚労省社会保障人口問題研究所、高知県 (以下人口に関する国及び高知県関連の数値について同じ)

1. 人口

①人口減少 ②予測を上回る減少率

高知県人口

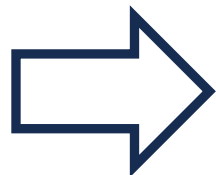
2005年

(平成17年)

79.6万人

[▲5.2%]

[85年比]



2025年

(令和7年)

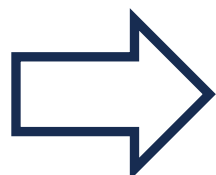
67.1万人

[▲15.7%]

[05年比]

厚労省予測

(2007年5月)



2025年

(令和7年4月)

64.8万人

[▲18.6%]

[05年比]

高知県発表の
実数

(2025年4月)

予測より2.3万人減
予測を2.9%上回る減少率

1. 人口

①人口減少 ③予測を上回る減少の可能性

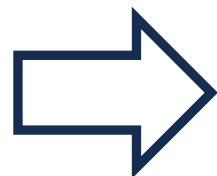
高知県人口
2025年

(令和7年4月現在)

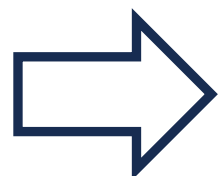
64.8万人

[▲18.6%]

[05年比]



2050年
(令和32年)
45.1万人
[▲30.5%]
[25年比]



2050年
(令和32年)
39.4万人
[▲39.5%]
[25年比]

2050年に40万人を
下回る可能性

厚労省予測
(2023年12月)

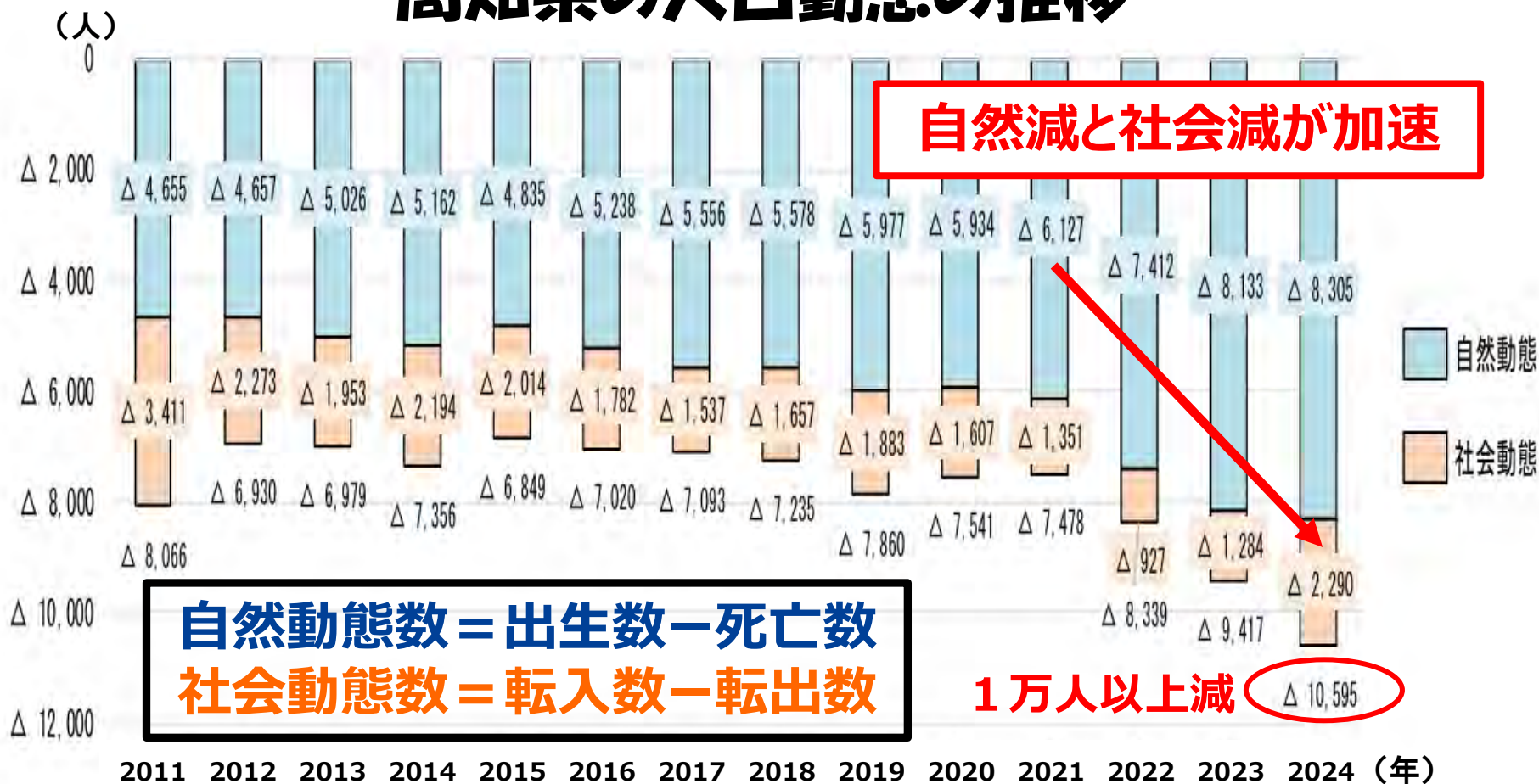
前年比▲2%の
減少率による
25年後人口の
弊社試算

2023年4月1日時点人口
前年同月比▲1.2%
2024年同▲1.5%
2025年同▲1.7%

1. 人口

①人口減少 ④人口動態

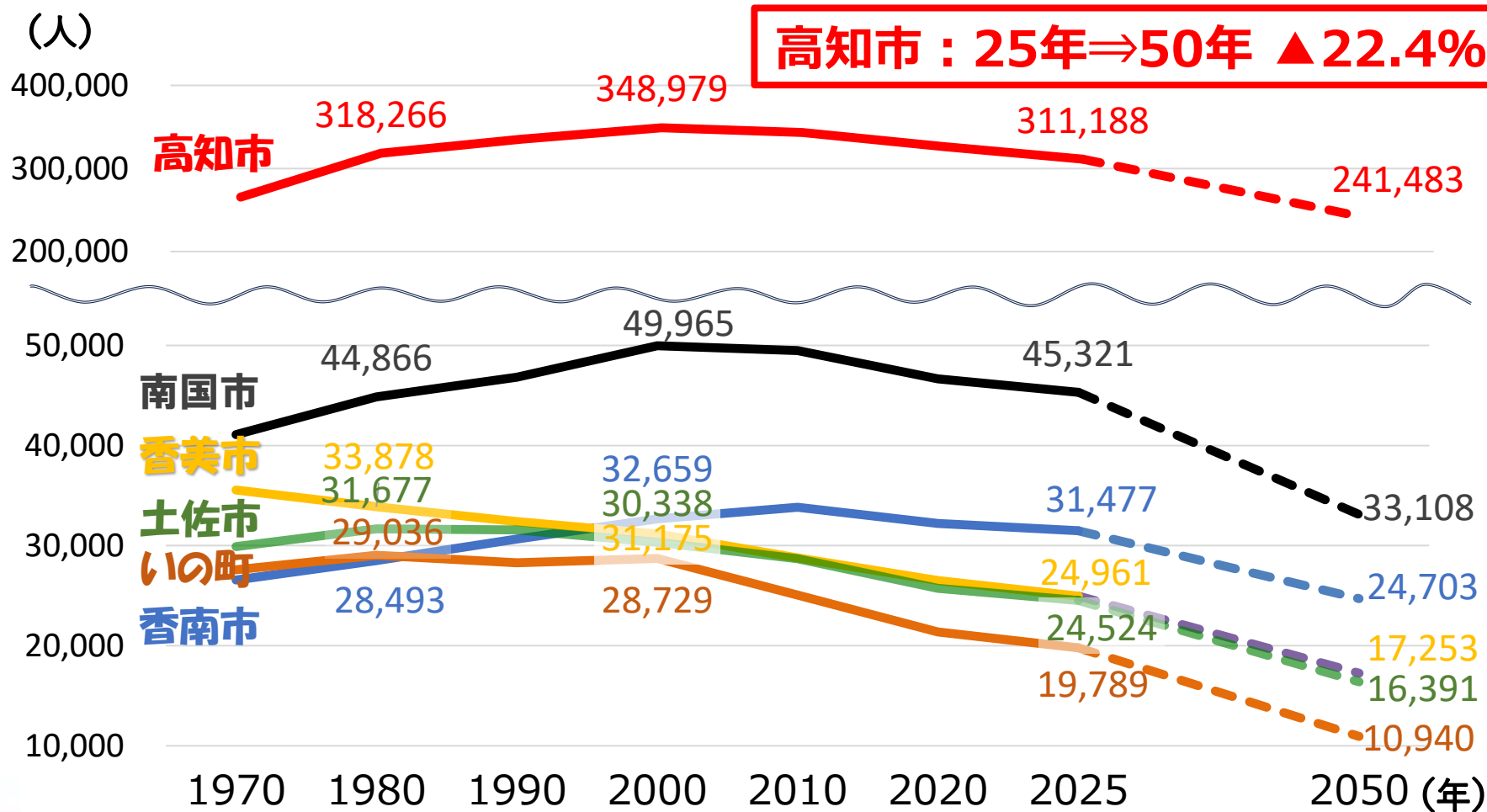
高知県の人口動態の推移



1. 人口

①人口減少 ⑤地域別動向・中央部

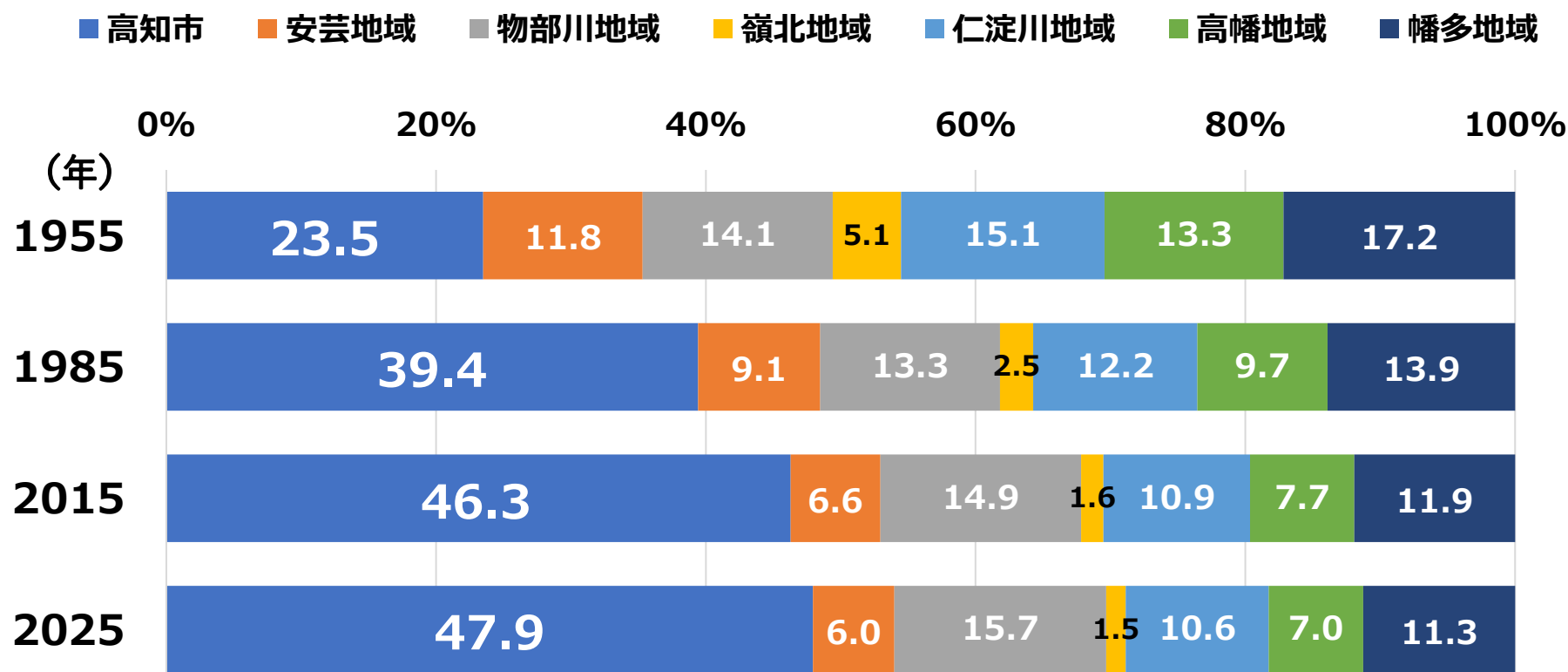
中央部市町の人口の推移



1. 人口

①人口減少（参考）高知市への人口集中

高知県人口の地域別割合の推移

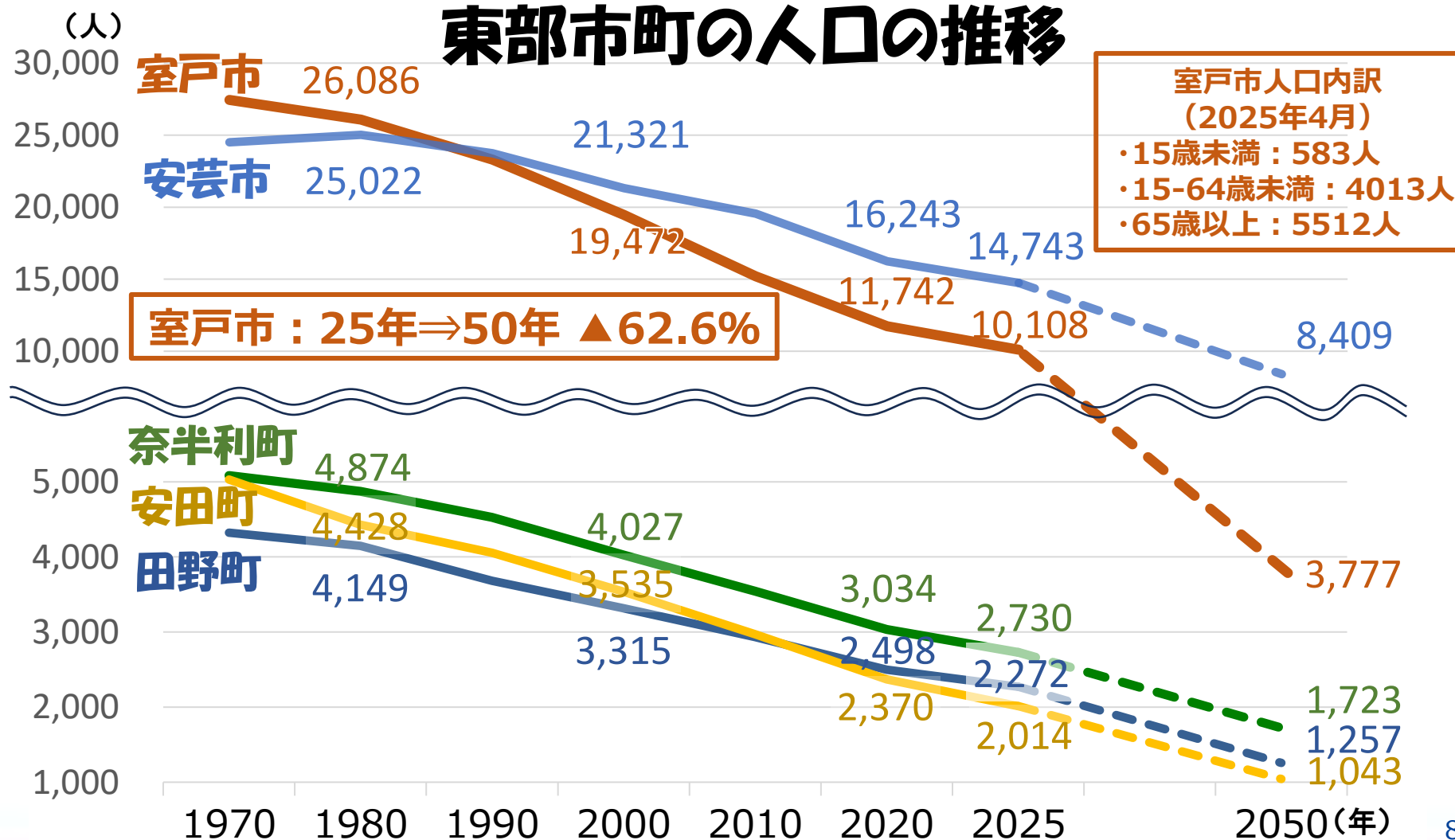


高知市への人口集中が加速

1. 人口

①人口減少 ⑤地域別動向・東部

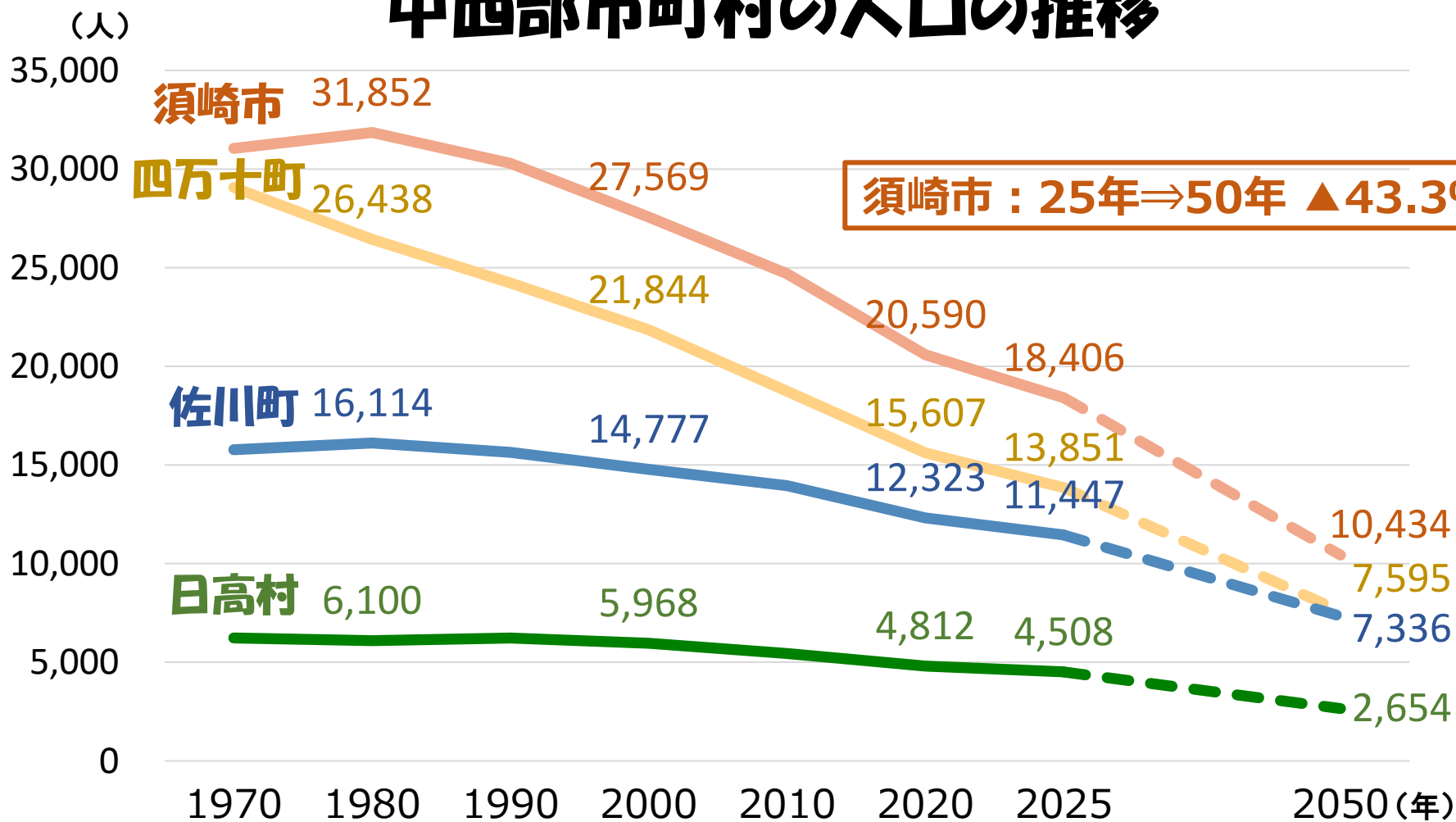
東部市町の人口の推移



1. 人口

①人口減少 ⑤地域別動向・中西部

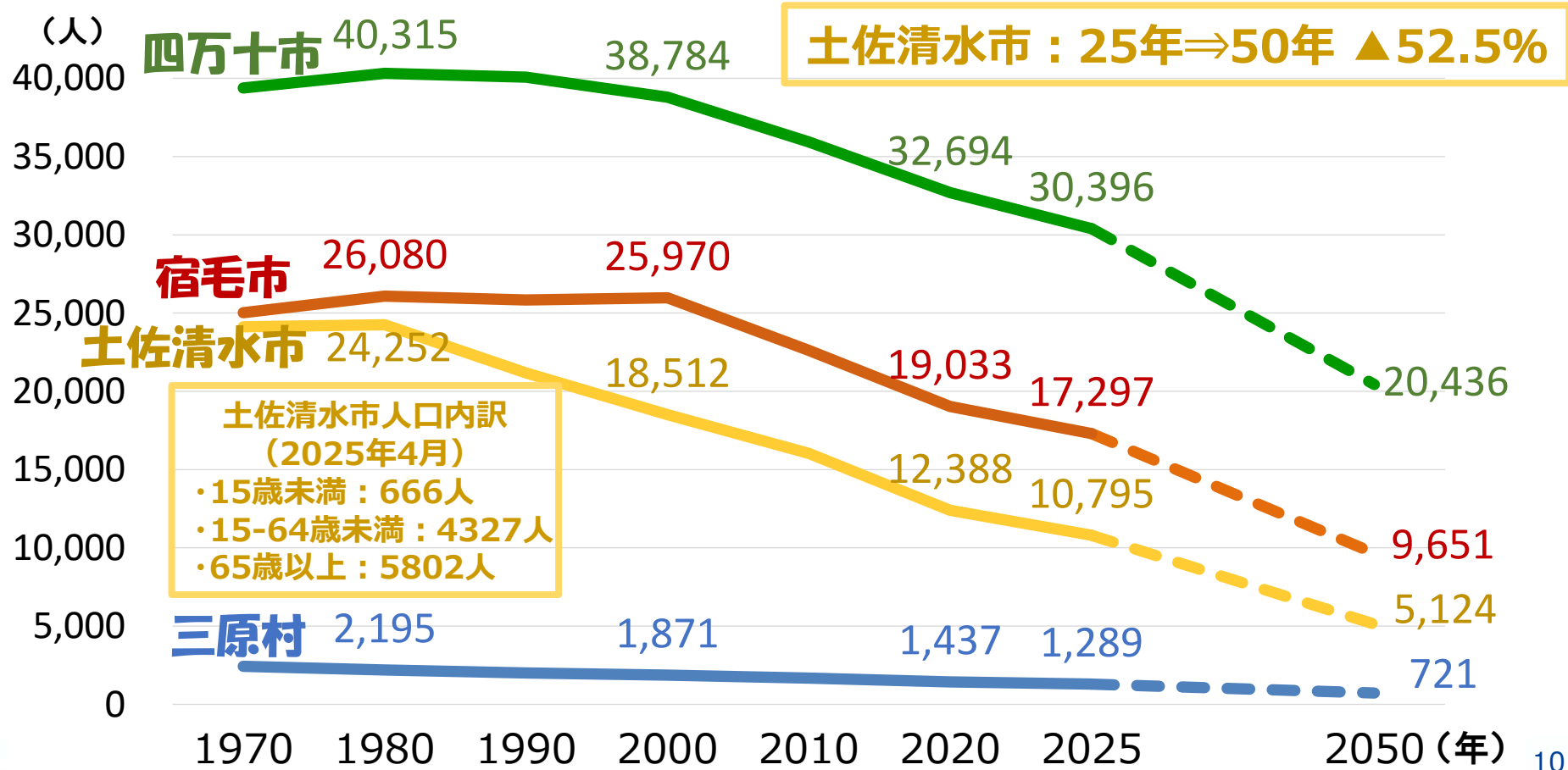
中西部市町村の人口の推移



1. 人口

①人口減少 ⑤地域別動向・幡多地域

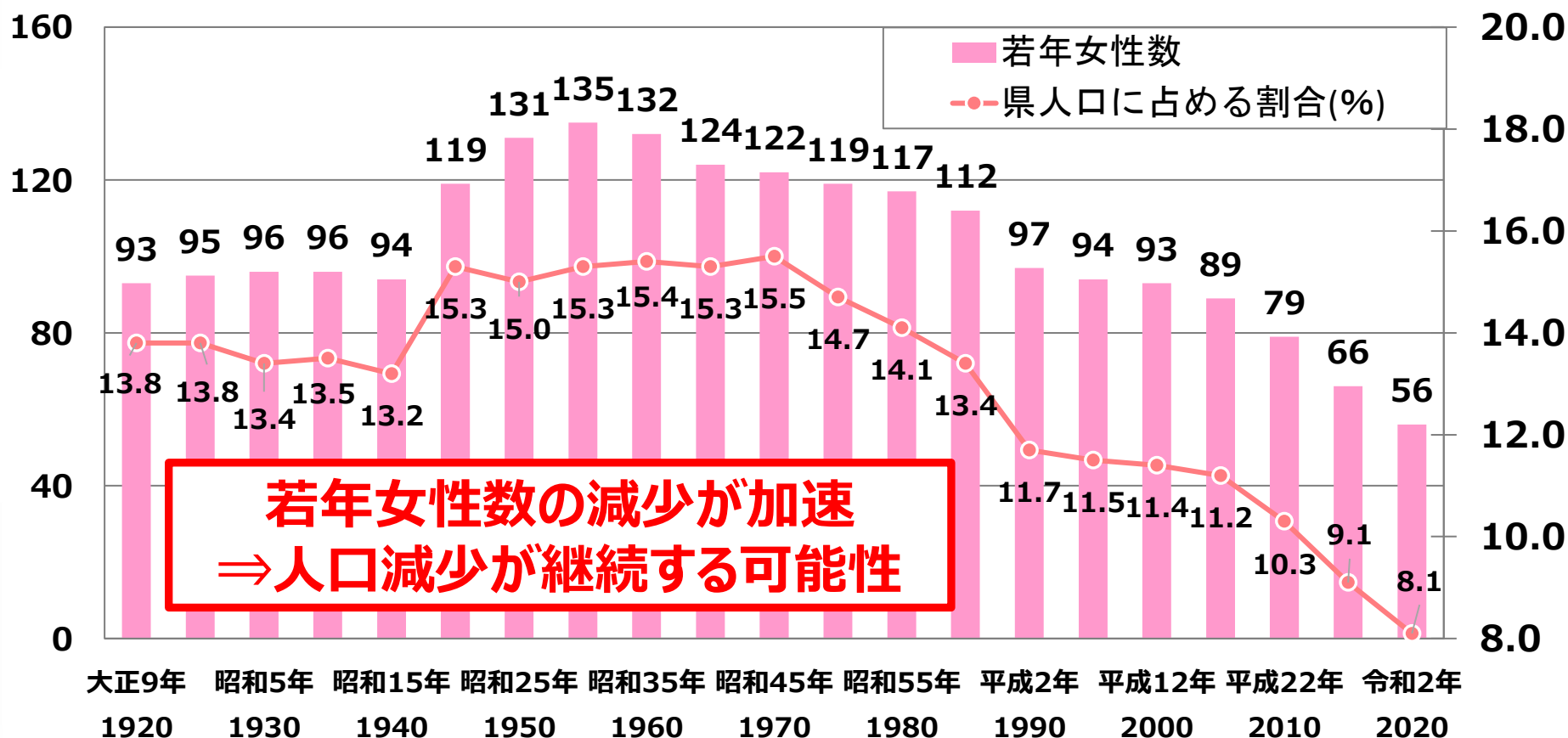
幡多市村の人口の推移



1. 人口

①人口減少 ⑥若年女性数

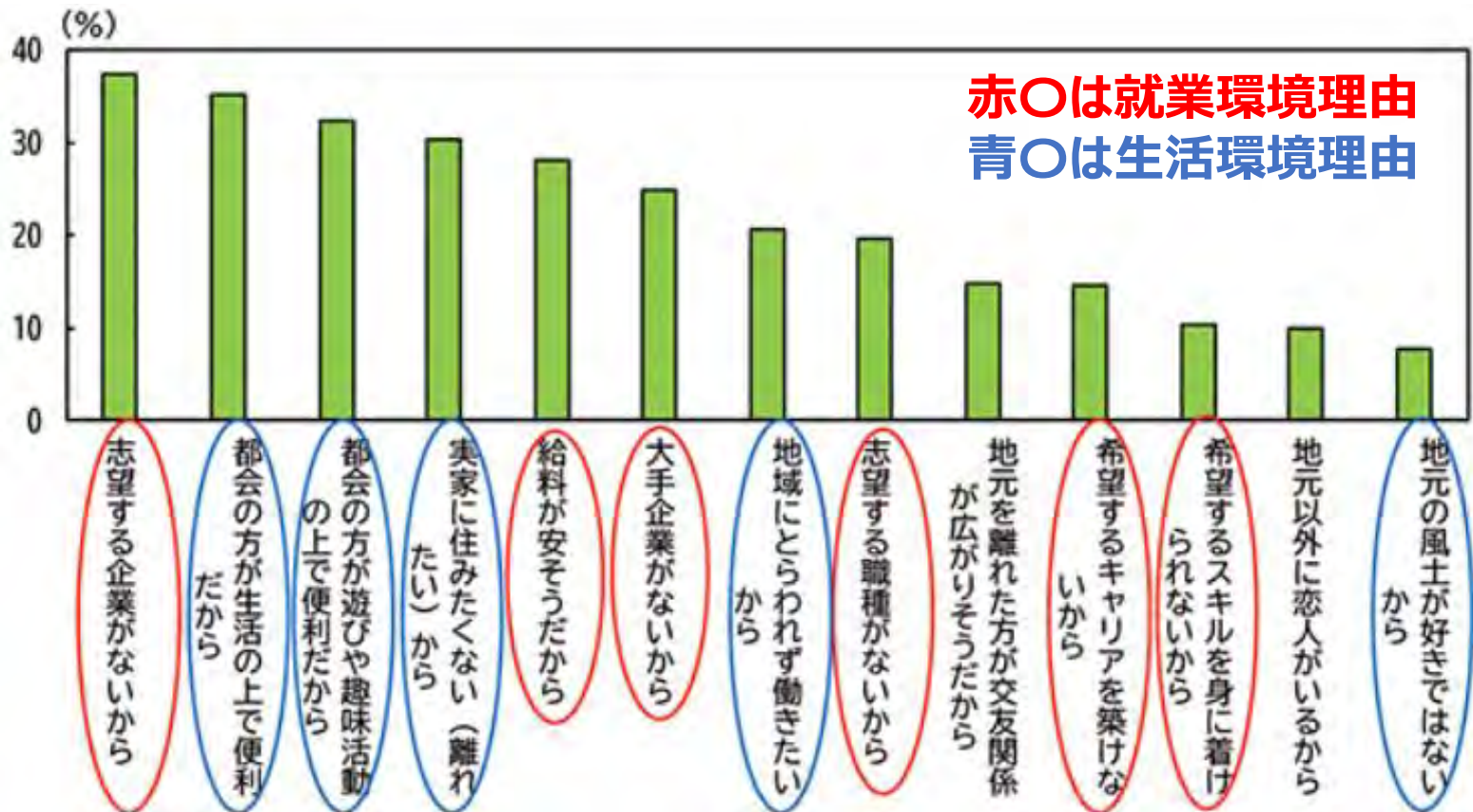
(千人) 高知県の若年(20-39歳)女性数とその県人口に占める割合 (%)



1. 人口

①人口減少（参考）全国大学生等への調査

地元就職を希望しない理由（大卒等・2025年卒見込み）



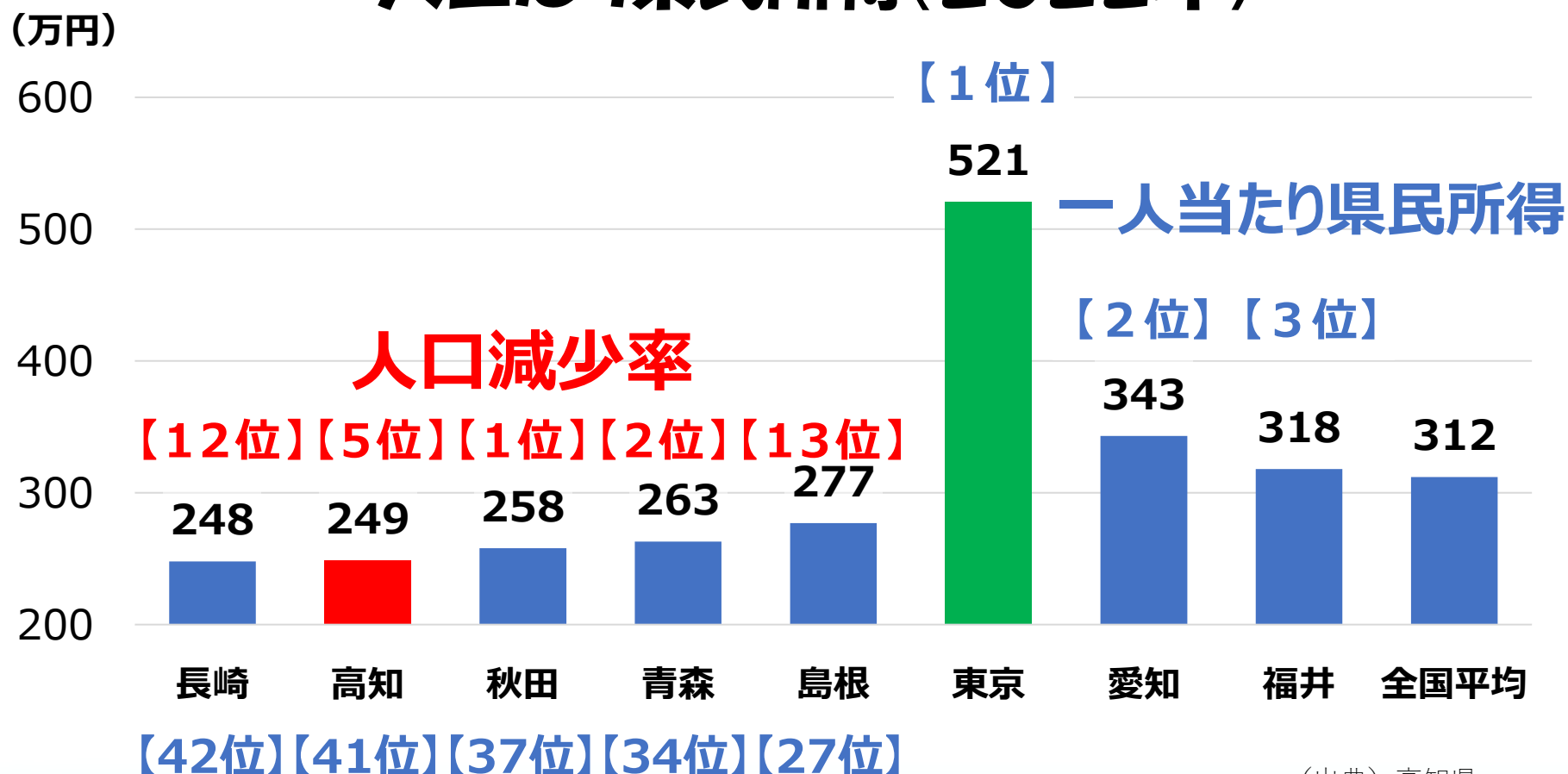
（出典）内閣府地域課題分析レポート（2024年秋号）、調査は2024年3～4月実施

（備考）大卒・院卒見込み者に対するアンケート調査での有効回答全国3017名のうち、地元就職を希望しない919名の複数回答12

1. 人口

①人口減少（参考）県民所得比較

一人当たり県民所得(2022年)



1. 人口

①人口減少（参考）スマートシュリンクとは？ i

高知県の「元気な未来創造戦略」における
スマートシュリンク（賢い縮小）とは？



そう言わざるをえないほど厳しい
人口減少と少子高齢化

私的に解釈すれば

「選択と集中」をすること

1. 人口

① 人口減少（参考）スマートシュリンクとは？ ii

人口減少社会に適応し「賢く縮む」"4 S"プロジェクトの推進について

1

現状認識と"4 S"プロジェクトの趣旨

※ Smart Shrink for Sustainable Society （持続可能な社会の実現に向けた賢い縮小）

- 少子高齢化の進行に伴い、様々な分野において担い手不足が深刻化。また、「元気な未来創造戦略」に掲げる若年人口の増加目標を達成しても、当面の間、総人口の減少は避けられない状況。
- このため、「元気な未来創造戦略」において、若年人口の減少そのものに歯止めをかける「**抑制策**」としての取り組みに加え、**人口減少への「適応策」**として、**スマートシュリンク（賢い縮小）**の視点で「"4 S"プロジェクト」を推進する！
- 全国に先駆けて人口減少が進む本県だからこそ、同プロジェクトに果敢に挑戦し、**地域社会の持続可能性と県民のQOLを高める。**

2

"4 S"プロジェクトの視点

< 4つの視点（4つのS） >

- | | |
|--------|---|
| ① 「集合」 | 複数の事業体を集め束ねることで、 スケールメリット を追求 |
| ② 「伸長」 | 真に必要なサービス は充実（伸ばす） |
| ③ 「縮小」 | 重複するサービスの共同化や目的達成のための簡素な手法への代替等により「 賢く縮小 」 |
| ④ 「新規」 | 前例踏襲ではない「 全国初、日本一 」への挑戦を含め、 新たな試み を追求 |

全国に先駆けて人口減少が進む本県だからこそ
「"4 S"プロジェクト」に挑戦！

地域社会の**持続可能性**と県民の**QOL**を高める！

（出典）高知県

1. 人口

①人口減少（参考）スマートシュリンクとは？ iii

3 "4S"重点プロジェクトの推進

「"4S"プロジェクト」のうち、特に県として強力な関与が必要な取り組みについては、「"4S"重点プロジェクト」として推進。予算編成や組織体制において、**県の経営資源を重点的に投入**する！

「"4S"プロジェクト」の具体例

別紙

「"4S"プロジェクト」の具体例について

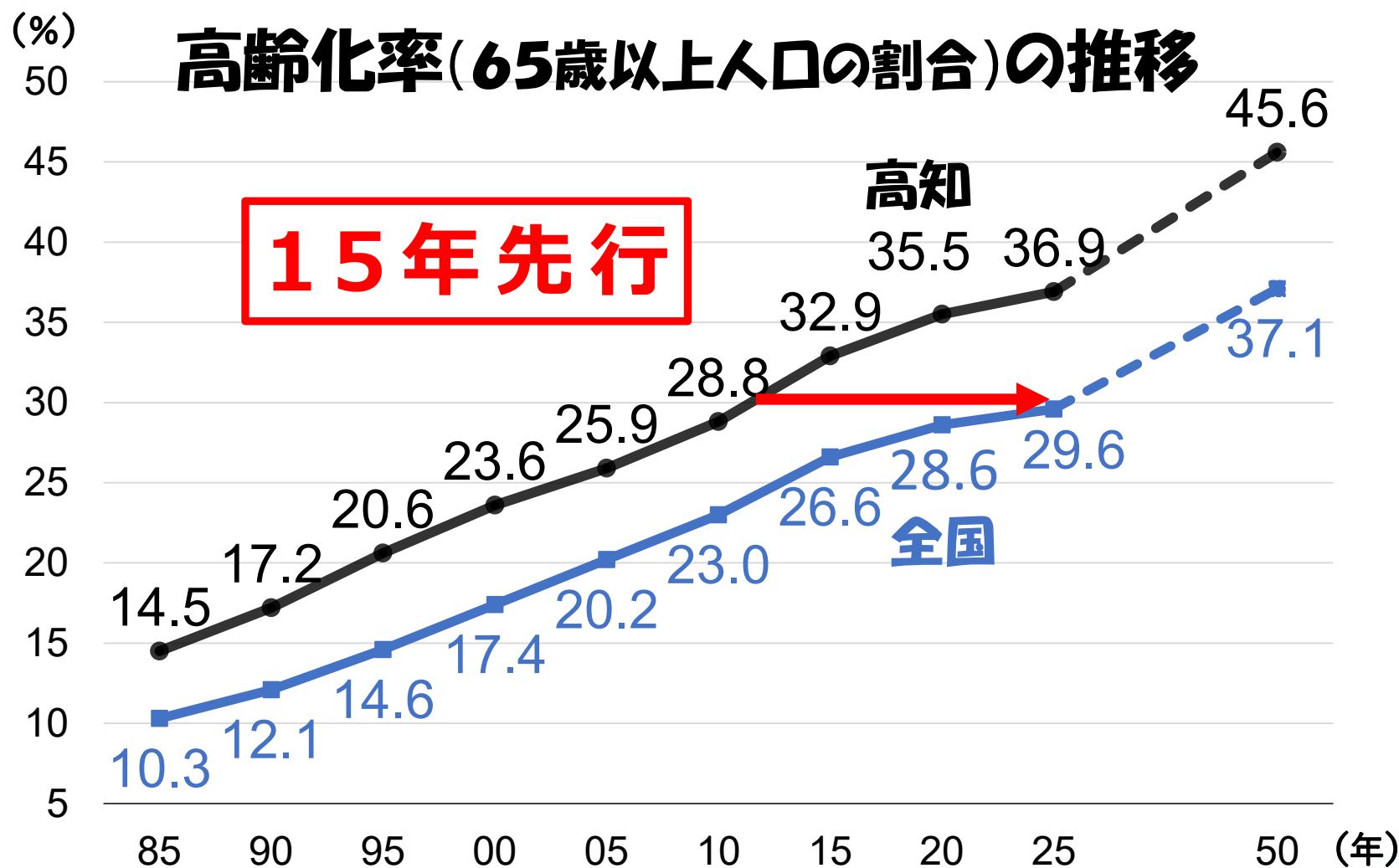
別紙

"4S"重点プロジェクト

視点 プロジェクト名	集合 (スケールメリットを追求)	伸長 (真に必要なサービスを充実)	縮小 (「賢く縮小」)	新規 (前例踏襲ではない 新たな試み)	担当 部局
消防広域化	● 現行15消防本部を 全県1本部 に統合	● 消火・救急・救助などの 現場力を強化	● 総務部門、通信指令部門などの 共通する事務をスリム化 し、効率化	● 県の消防防災航空センター及び消防学校もあわせて 統合する全国初の試み に挑戦	危機管理部
周産期医療体制の確保	● 出生数や医師数の減少を加味し、各医療機関の ハイリスク・ローリスク機能を再編・集約 ● 医療機関間の役割分担を明確化した上でネットワークを強化	● 出産時の 安全性確保を最重点 に体制を構築 ● 安心して受診できるようシステムの県内統一や宿泊代助成等を実施	● ローリスク出産には助産師を中心とした「 院内助産システム 」を導入	● 中長期的に ローリスク大規模分娩取扱施設 の整備を検討	健康政策部
県立高等学校の振興と再編	● 生徒数の減少を踏まえ、 都市部では、学校単位の再編 も含め教科や部活動を選択できる教育環境を確保	● 中山間地域の 小規模校では、設置基準(学級数)を都市部より緩和 ● 地域資源を生かしたカリキュラムや部活動など 学校の魅力化・特色化 を進め全国から生徒を集める	● 各学校の定員充足率を踏まえ、 学級数や定員数を減 ● 定時制・通信制については実情を踏まえて再編 ● 遠隔教育 をさらに推進	● 地元市町村等と協力し、学科・部活動で 全国初、日本一となる取組 に挑戦(新学科等の創設 を含めて検討)	教育委員会
地域公共交通の確保	● 路面電車と路線バスのあり方を一体的に検討 ● 並走区間の見直し などによる効率化	● 路線バスの 幹線機能の維持・充実 ● 当面5年間、路面電車は維持の方向(10年後に向け検討)	● 路線バスの 支線部分 は、オンデマンド交通、コミュニティバス等 簡素な交通手段で代替 を検討	● とさでん交通の経営安定化に向け、 収益部門での積極的な設備投資や従業員の処遇改善等「全国初の試み」 も含め具体策を検討	総合企画部
国保料水準の統一	● 34市町村の国保料等を統一し、 保険財政の規模の拡大を通じて運営を安定化	● 小規模市町村での 高額医療費の発生による保険料率引き上げを軽減 し、保険機能を強化 ● 県内全域で同一所得の人は同一保険料とし 公平性を向上	● 市町村が共同して医療費の無駄を省くことで 保険料率の上昇を抑制	● 糖尿病や心臓疾患の重症化予防に向け、 全国初のプログラム確立 に挑戦	健康政策部

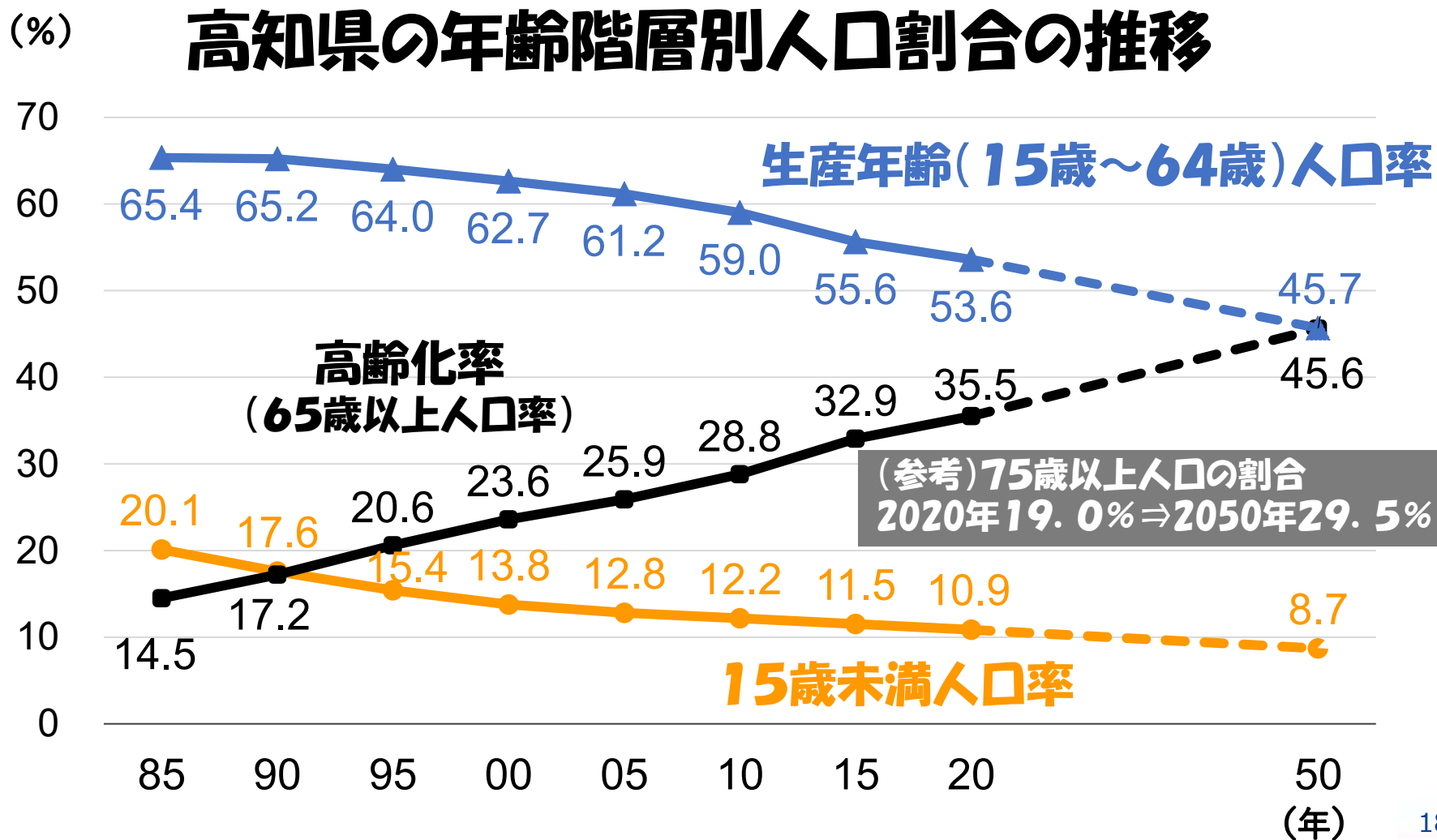
1. 人口

② 少子高齢化 ① 先行かつ加速する高齢化率



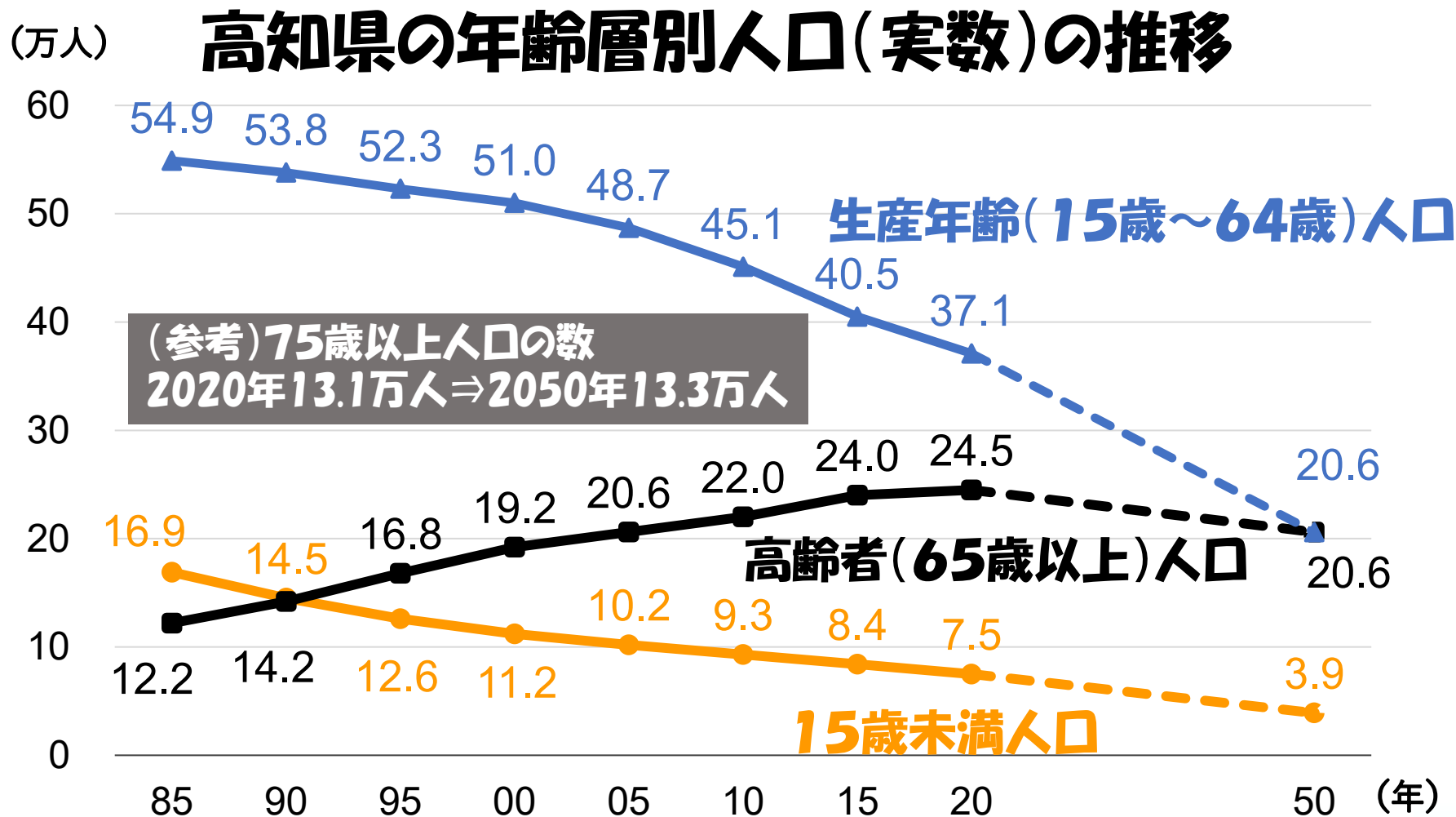
1. 人口

② 少子高齢化 ② 一段と加速 i



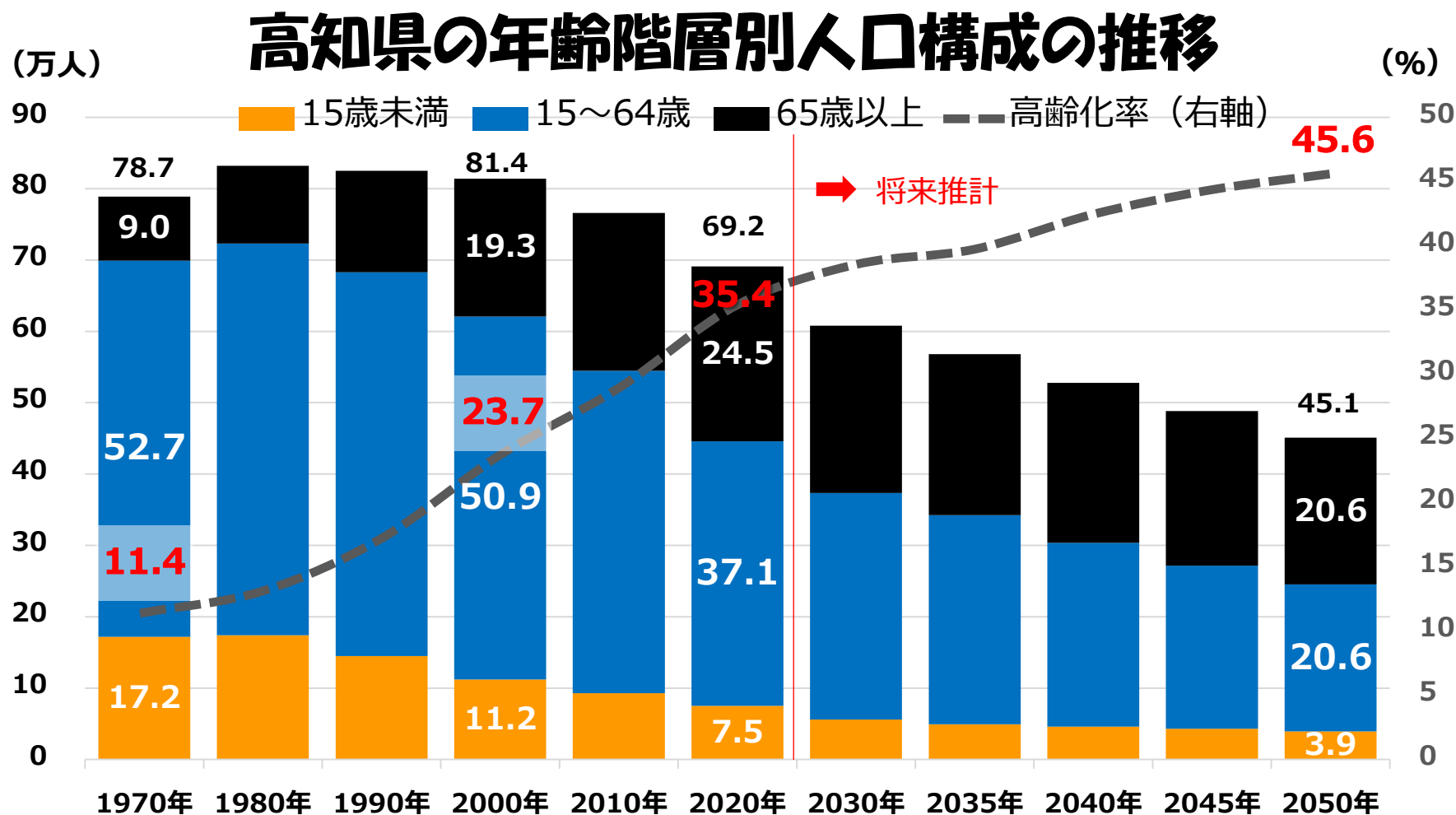
1. 人口

②少子高齢化 ②一段と加速 ii



1. 人口

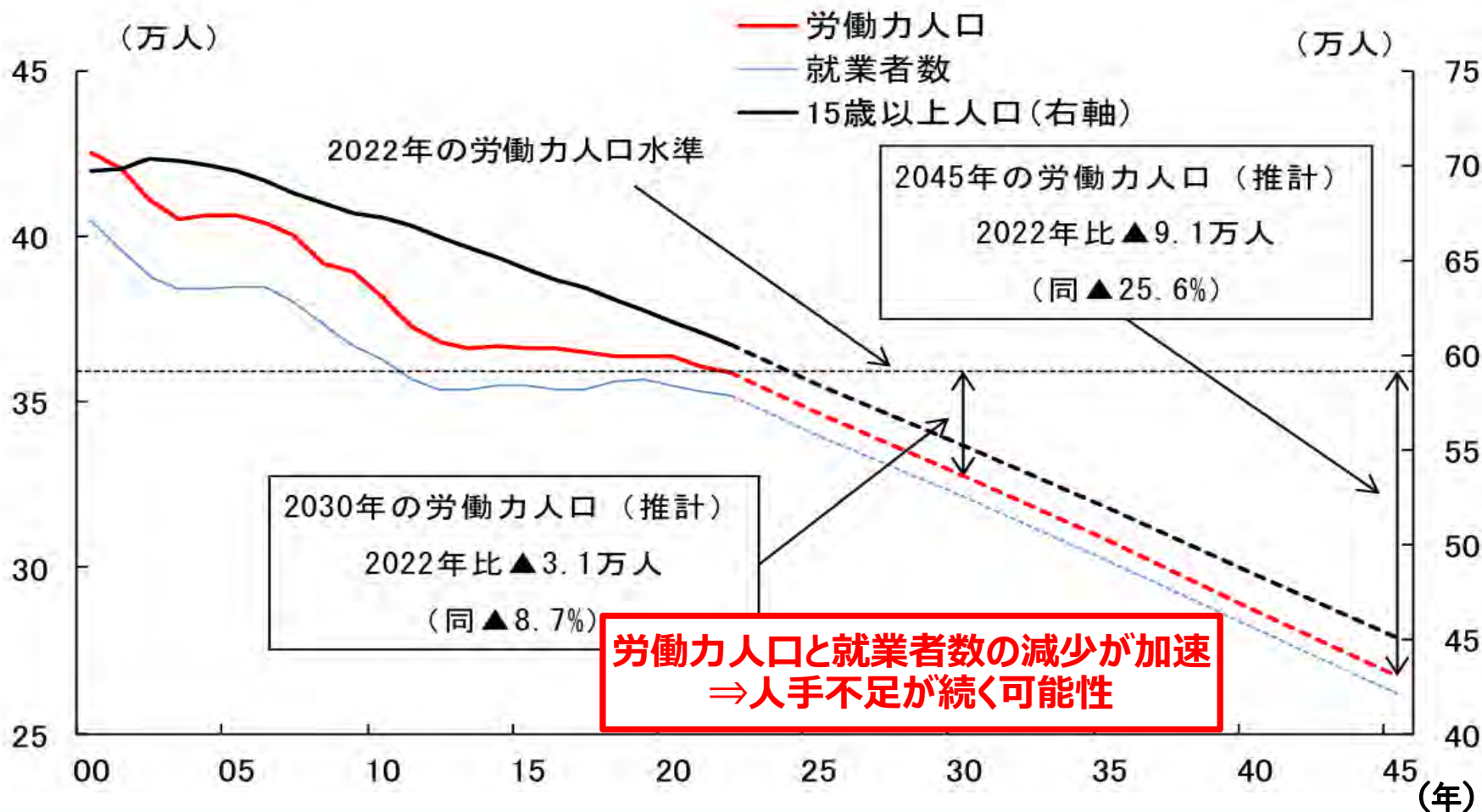
② 少子高齢化 ② 一段と加速 iii



1. 人口

③ 人手不足 ① 就業者数等

高知県の15歳以上人口、労働力人口、就業者数の推移

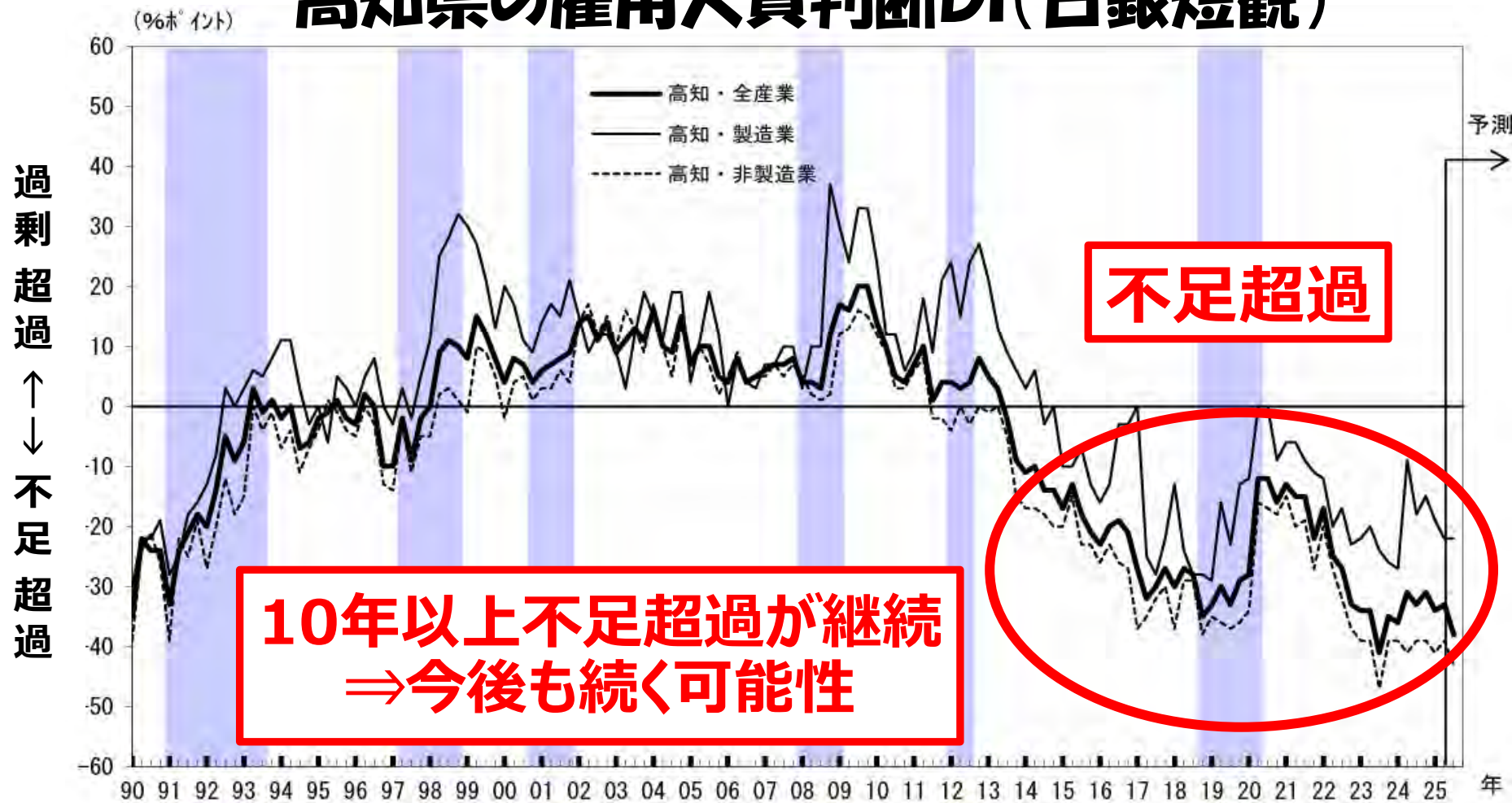


(出典) 日銀高知支店、備考：実績の直近は2022年。モデル推計値。破線は推計値。

1. 人口

③人手不足 ②長期間継続

高知県の雇用人員判断DI(日銀短観)



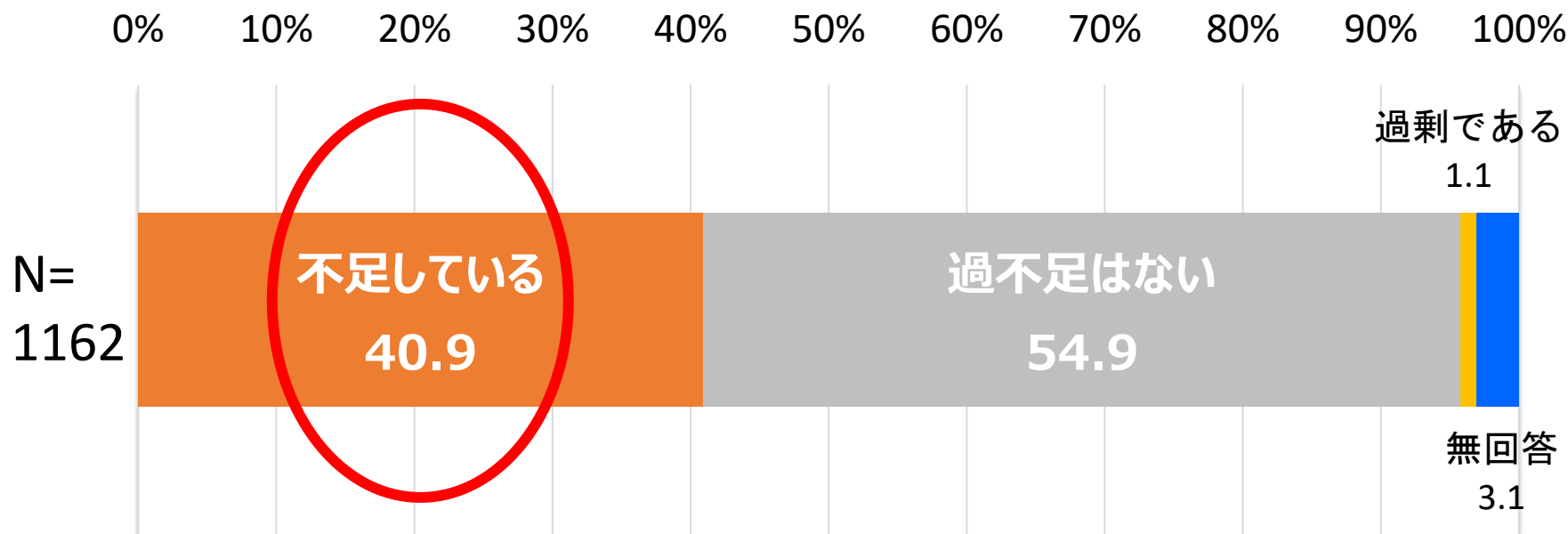
(出典) 日銀高知支店

1. 人口

③ 人手不足 ③ 県内企業40%以上が人手不足

高知県内企業に対するアンケート調査

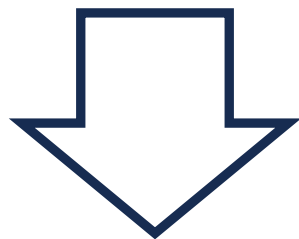
【質問】人員の状況について、従業者（パート等を含む）の現在の充足状況はいかがですか。



（出典）令和5年度高知県中小企業・小規模企業版県政世論調査、備考：対象3,000事業者・回答1162事業者、調査は2023年8～9月実施

1. 人口

人口減少と少子高齢化の進行



人手不足・担い手不足の深刻化

地域経済縮小の可能性

本日の構成

1. 人口

2. 産業構造

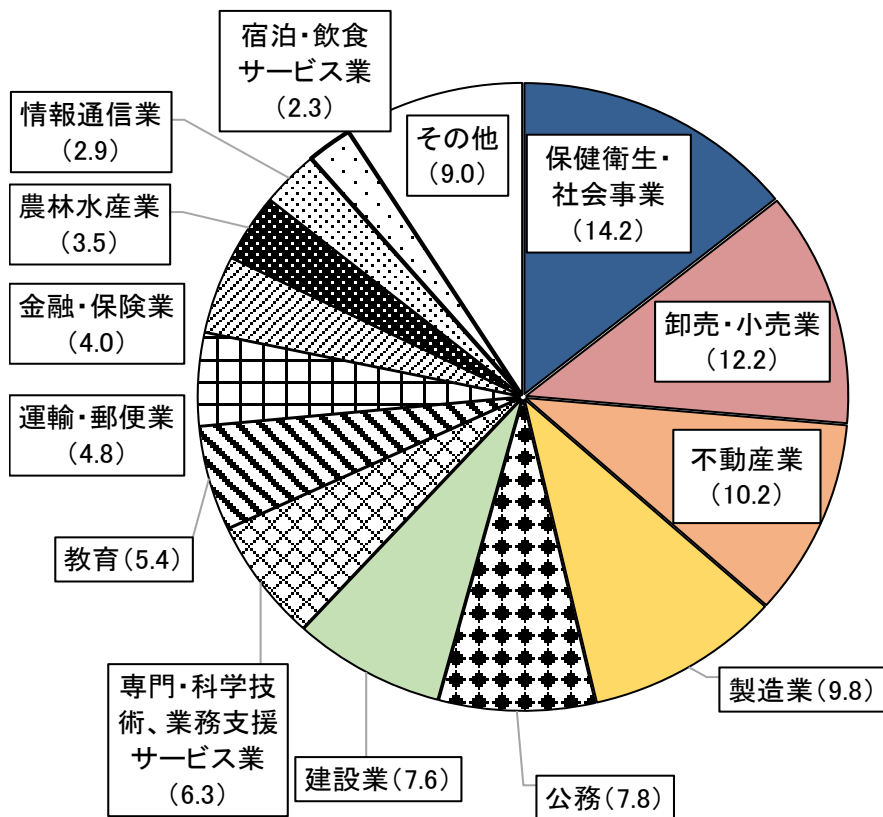
3. 観光

2. 産業構造

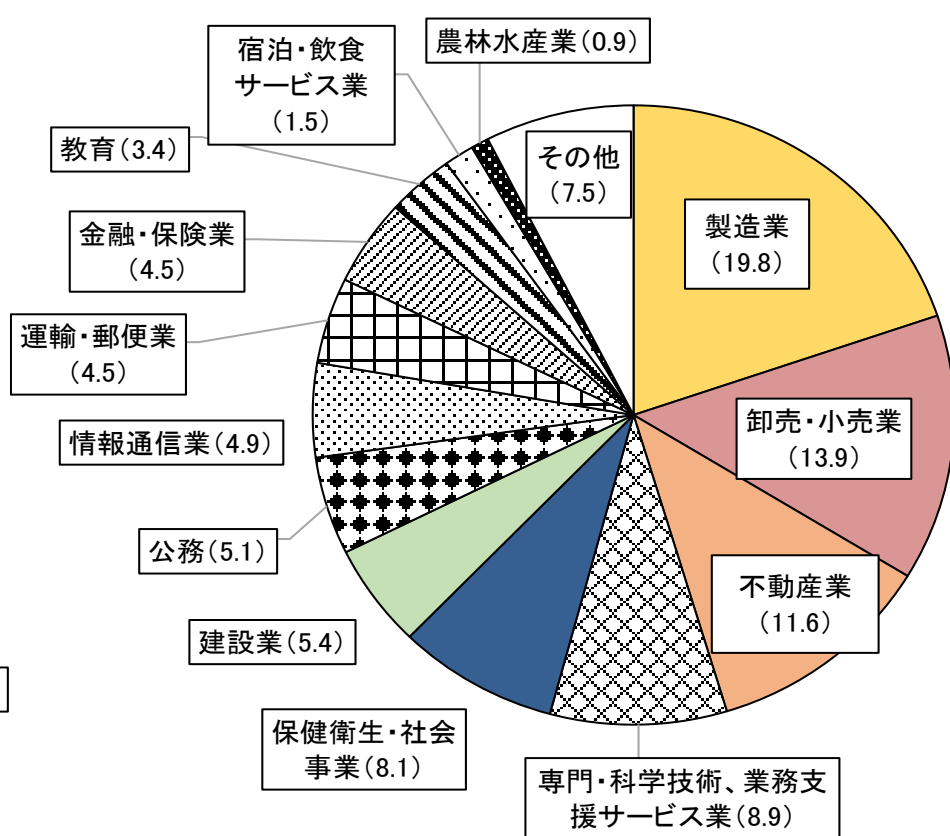
製造業のウェイトが小さく、保健衛生等（医療福祉）、建設、公務、教育、農業のウェイトが大きい
⇒ 外需の影響を受けにくく、国等の財政運営の影響を受けやすい可能性

高知県と国の名目総生産の比較（2022年度）

▽高知県（%ポイント）



▽全国（%ポイント）



（注1）15年基準（08SNA）。（ ）内は、県内（国内）総生産（名目）全体に占める各業種のウェイト。

（注2）その他には輸入品に課される税・関税等が含まれる。

（注3）高知県は年度ベース、全国は暦年ベース。

（出典）日本銀高知支店、高知県「高知県県民経済計算の概要」、内閣府「国民経済計算」

(参考1) 米国相互関税についての高知県内企業へのアンケート調査結果

調査結果：業績への影響（四銀地域経済研究所調べ、調査期間 2025年5月7日～6月9日）

- ◆ **業績（見込み含む）への影響**について、「影響あり（プラスの影響）」、「影響あり（マイナスの影響）」、「影響なし」、「わからない」の4択で回答を求めた。
- ◆ **全産業で「影響なし」が46.5%と最多**。次いで「わからない」38.9%、「影響あり（マイナスの影響）」14.6%の順。「影響あり（プラスの影響）」と回答した企業はなかった。「影響なし」が**最も高い理由**としては、**製造業のウェイトが小さい**という高知県の産業構造が考えられる。また、「わからない」と回答した企業の割合が**38.9%と高い理由**としては、**上乗せ分の実施が7月9日まで一時停止され、日米両政府で関税交渉が続いており、今後の予測が困難で注視している**こともあると思われる。
- ◆ 「影響あり（マイナスの影響）」が最も高い業種は、製造業の21.6%。運輸・サービス業15.2%、卸売・小売業13.2%と続く。建設業は0%。

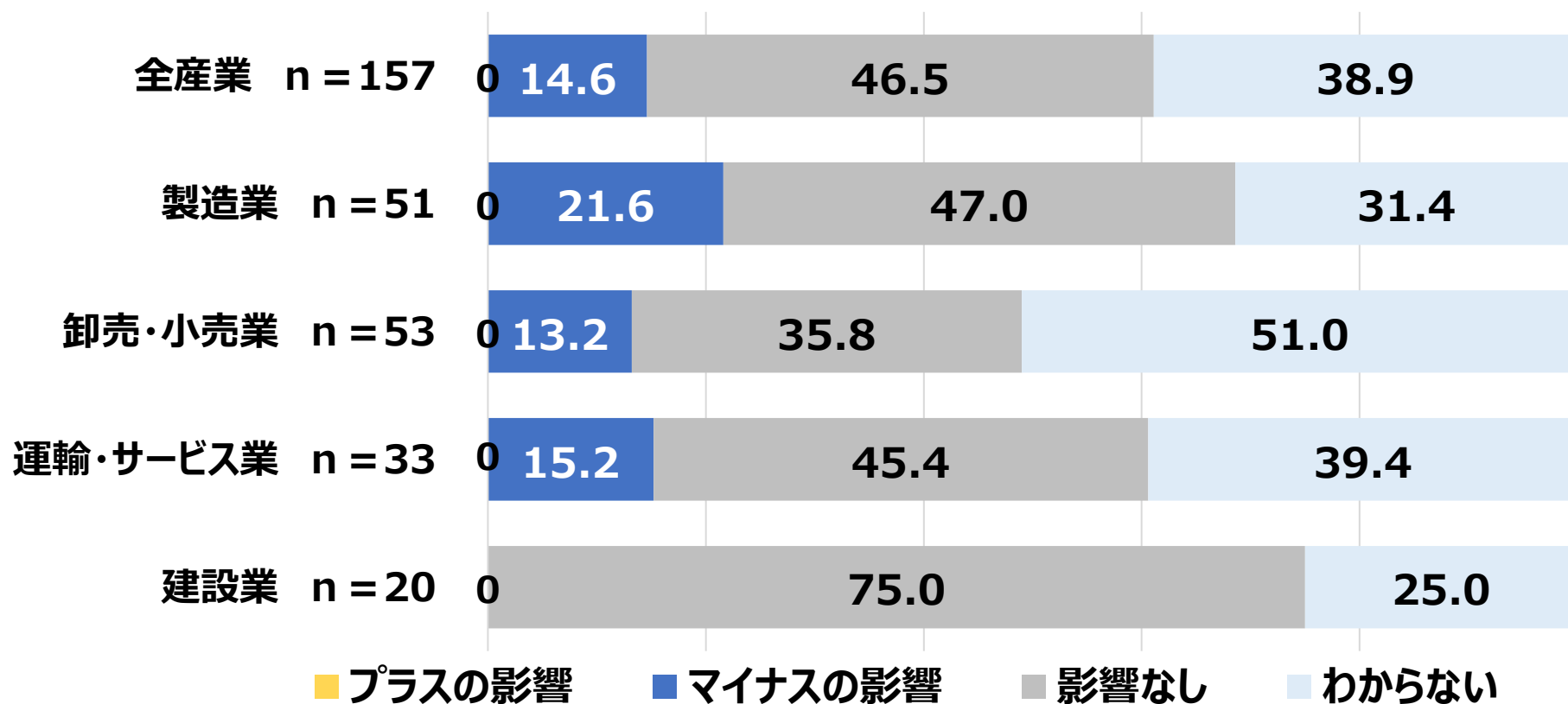
(参考1) 米国相互関税についての高知県内企業へのアンケート調査結果

調査結果：業績（見込み含む）への影響（業種別グラフ）

米国相互関税の影響（業種4区分別）

(%)

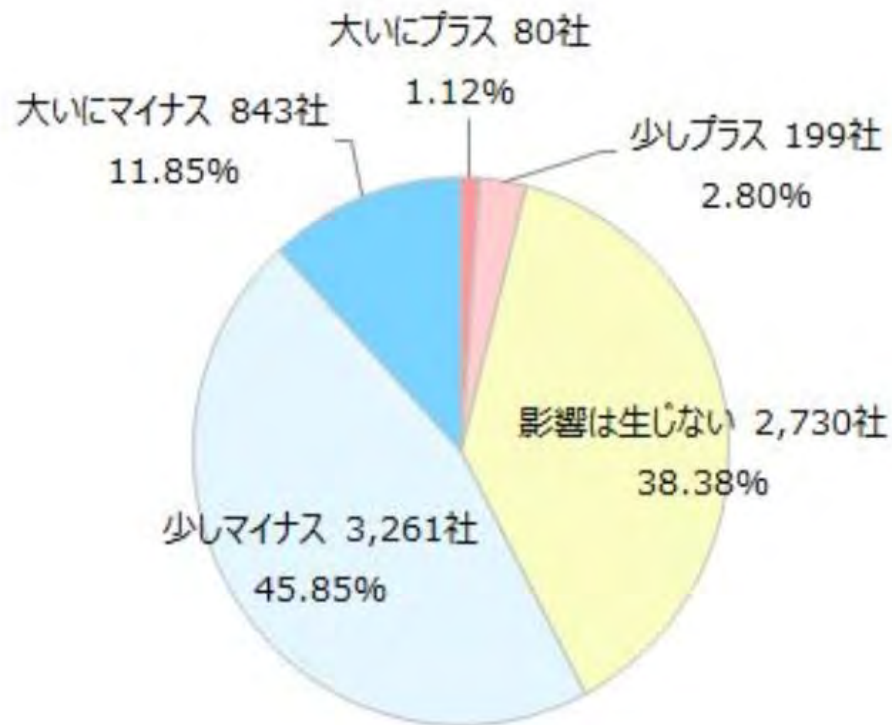
※無回答を除く



(参考2) 米国相互関税についての全国企業へのアンケート調査結果

調査結果：業績への影響 (東京商工リサーチ調べ、調査期間 2025年6月2日～9日)

(全企業7,113社)



「少しマイナス」「大いにマイナス」業種別 (上位)

順位	業種	構成比	回答	母数
1	ゴム製品製造業	92.30%	24	26
2	鉄鋼業	88.23%	45	51
3	非鉄金属製造業	84.61%	22	26
4	輸送用機械器具製造業	84.21%	80	95
5	電子部品・デバイス・電子回路製造業	79.24%	42	53

(注) 上記調査はインターネットによるアンケート調査。

農林水産鉱業、建設、製造、卸、小売、金融保険、不動産、運輸、情報通信、サービス等の業種の企業の有効回答7,113社を集計したもの。

2. 産業構造

**高知県の産業構造からみると
観光関連産業は重要なパート**

本日の構成

1. 人口

2. 産業構造

3. 観光

3. 観光

①高知県の観光政策の基本スタンス：強みを生かす

食

全国に誇れる 自慢の食



- 「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」
ランキング 17年間で7度の日本一 ※じゃらん宿泊旅行調査
- 全国シェアトップクラスの農産物(ゆず、にら、しょうが等)
- 各地域に根付く独自の食文化



自然・体験

美しく豊かな自然



- 森林率(84%) 日本一
- 「平均水質が最も良好な河川」
奇跡の清流 仁淀川 :5年連続を含め8回選出
最後の清流 四万十川:2回選出
- 日本三大カルスト(四国カルスト)
- 年間日照時間・年間降水量 R2年 日本一
※社会生活統計指標



歴史

幕末維新の 息吹を体感



- 「幕末の偉人で最も会ってみたい人」
第1位 坂本龍馬
※高知県アンケート調査(H29.2月)
- 歴史に大いなる影響を与えた多くの偉人を輩出
- 四国八十八箇所霊場と遍路道



人・文化

明るい県民性 クリエイティブな人材



- 土佐のおきゃく文化 ●よさこい祭り
- まんが王国・土佐 ●ひろめ市場
- 連続テレビ小説のモデルとなる人物
らんまん(植物学者 牧野富太郎博士)
あんぱん(アンパンマン作者 やなせたかし夫妻)



3. 観光

② 高知県のこれまでの主な観光キャンペーン等の取組み

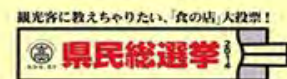
歴史

- 大河ドラマ龍馬伝の放送に合わせ博覧会を開催
- 大政奉還150年、明治維新150年の節目の年には2年連続で博覧会を開催



食

- 県民がお勧めする飲食店を投票する「食の県民総選挙」を開催
- 生産者や料理人の料理への熱い思いにスポットを当てたプロモーションを展開



自然体験

- 民間企業のノウハウをフル活用してアウトドア拠点を整備
(キャンプ場 : スノーピーク、モンベル、コールマン、ロゴス 等)
(アクティビティ: 四万十川ジップライン、フォレストアドベンチャー 等)
- 土佐の観光創生塾等を通じた体験プログラムの造成
- 大手予約サイト(OTA:じゃらん、アソビュー等)と連携した販売促進



3. 観光

③高知県の最近の観光政策 = どっぷり高知旅キャンペーン ①概要

■ キャンペーン名称 = どっぷり高知旅キャンペーン

高知ならではの魅力をじっくり、深く、たっぷりと味わっていただき、日常を忘れ、心からの息抜きや、新しい発見・気づきにつなげて強力な高知のファンになっていただくことを目指す観光キャンペーン。

■ コンセプト = 極上の田舎、高知。

このコンセプトにおける「田舎」は、穏やかで自然あふれる場所、地域の独自性といったポジティブな意味。

未来に向けて重要な資源と新しい価値を持ち、あらためて見直され、海外からも注目されている田舎。その「スーパーローカル」ともいえる高知ならではの独自の魅力で一生モノの体験を提供。

■ ゴール

滞在日数の増、リピート率の向上

※県外観光客人泊数、観光総消費額を全体目標に設定

■ 対象期間

令和6年4月1日～令和10年3月31日の4年間



どっぷりど級の極上田舎へ
SUPER LOCAL KOCHI

有名な観光地をあっさり見る。それだけじゃ、もったいない。
見たことのない、ど風景。食べたことのない、ど名産。聞いたことのない、ど歴史。
家族のように距離が近い人たちの、暮らしたいほどの、ど親切。
ど級に濃厚な高知の魅力に、気がつけばハマっているはず。
忙しい日常からちょっと離れて、どっぷり旅してみませんか。



どっぷり高知旅
SUPER LOCAL KOCHI

高知

どっぷり高知旅キャンペーン 令和6年4月1日(月)～令和10年3月31日(金)
どっぷり高知旅キャンペーン事務局 / Tel. 087-823-8882 | <https://doppuri.kochi-kobe.jp> | 0120-888811



3. 観光

③高知県の最近の観光政策＝どっぷり高知旅キャンペーン ②ポスター例



③高知県の最近の観光政策＝どっぷり高知旅キャンペーン ③展開イメージ

4年間の展開イメージ

【観光商品をつくる】観光資源の発掘・磨き上げ

基本方向：地域への理解が深まる滞在型観光の推進

- 1.「極上の田舎、高知。」をコンセプトとした観光商品づくり
(例)・果樹オーナー制度など、地域との持続的交流につながる商品づくり
・神祭への参加など、伝統文化の継承につながる体験プログラム
- 2.地域内での周遊・滞在の促進
(例)・旅行者の動向分析を踏まえたタクシープランやスタンパラーの実施
- 3.地域との交流から生まれる感動など付加価値の向上
(例)・集落活動センターを拠点とした交流プログラムづくり
・教育旅行における民泊の推進
- 4.中山間地域の移動を確保するための2次交通の充実
(例)・コミュニティバスなど既存インフラの観光への活用
・県内バス事業者との連携による旅行商品化の促進

【4年後(R9)に目指す姿<目標値>】

- 地域ならではの観光商品が豊富にあり、高知ならではの魅力をじっくり味わうことができる
<新たな観光商品数=R5:0商品⇒200商品>
- 地域での立ち寄り先が増え、滞在時間の延長につながり、宿泊客も増えている
<1旅行あたりの県内立寄件数=R4:2.5件⇒3.2件>
- 観光客の来訪が地域の活性化につながっている
<民泊受入人数=R4:35名⇒2,500名>

磨き上げた
観光資源・商品
を国内外の市場へ

“おもてなし”で
リピーター化
観光客の声を
商品づくりに反映

【もてなす】受け入れ・リピーターの獲得

基本方向：観光客と地元の人との接点を増やす仕組みづくり

- 1.地域の特色を生かした受入体制づくり
(例)・地域ならではの旅を案内してくれるコンシェルジュ機能の強化
- 2.長期滞在の促進
(例)・アドバイザー派遣による宿泊施設の魅力向上
・中山間地域における空き家等を活用した分散型滞在機能の充実
- 3.観光客の満足度の向上
(例)・観光ガイドの裾野の拡大やガイドスキルの向上
・県民が観光客に直接魅力を伝えられるキャンペーン展開
・ユニバーサルツーリズムの一層の推進

【4年後(R9)に目指す姿<目標値>】

- 観光客が地域の中核となるホテル等を拠点に周辺の観光商品を利用する旅行スタイルが定着している <分散型宿泊施設のエリア数=R5:0⇒6>
- 観光コンテンツの提供が収入に結びつく仕組みができるとともに、ガイド等の担い手確保につながっている <ガイド登録者数=R4:882名⇒1,000名>
- 観光客との接点のある地元の人が高知らしいおもてなしができる
<観光施設の満足度=R4:86%⇒88%> <宿泊施設の満足度=R4:80%⇒85%>

戦略のコンセプト 「極上の田舎、高知。」

～「地域のための観光」へ～

【4年後(R9)の全体目標】

- ①県外観光客入泊数
R4:426.6万人泊⇒563.9万人泊
- ②観光総消費額
R4:966億円⇒1,389億円

効果的な
セールス&プロモーションで
観光客を高知に

【売る】PR・プロモーション

基本方向：どっぷり高知旅キャンペーンによる誘客促進

- 1.マスメディアを活用した情報発信
(例)・「どっぷり高知旅」をテーマにしたコンテストによる県内外への情報発信
・春は「花・みどり」、夏は「アクティビティ」など、シーズンごとにテーマやターゲットを設定したプロモーション展開
- 2.旅行会社向けのセールス活動
(例)・旅行会社向けの観光商品説明会やモニターツアーの実施
・広域エリアごとのキャンペーンと連動したセールス活動の展開
- 3.龍馬バスポート等を活用したリピーターの獲得
(例)・龍馬バスポートを活用した「どっぷり」コンテンツへの誘引策の実施
- 4.冬場や夜間の観光素材の充実
(例)・神楽などの伝統文化を組み込んだナイトイベントの実施

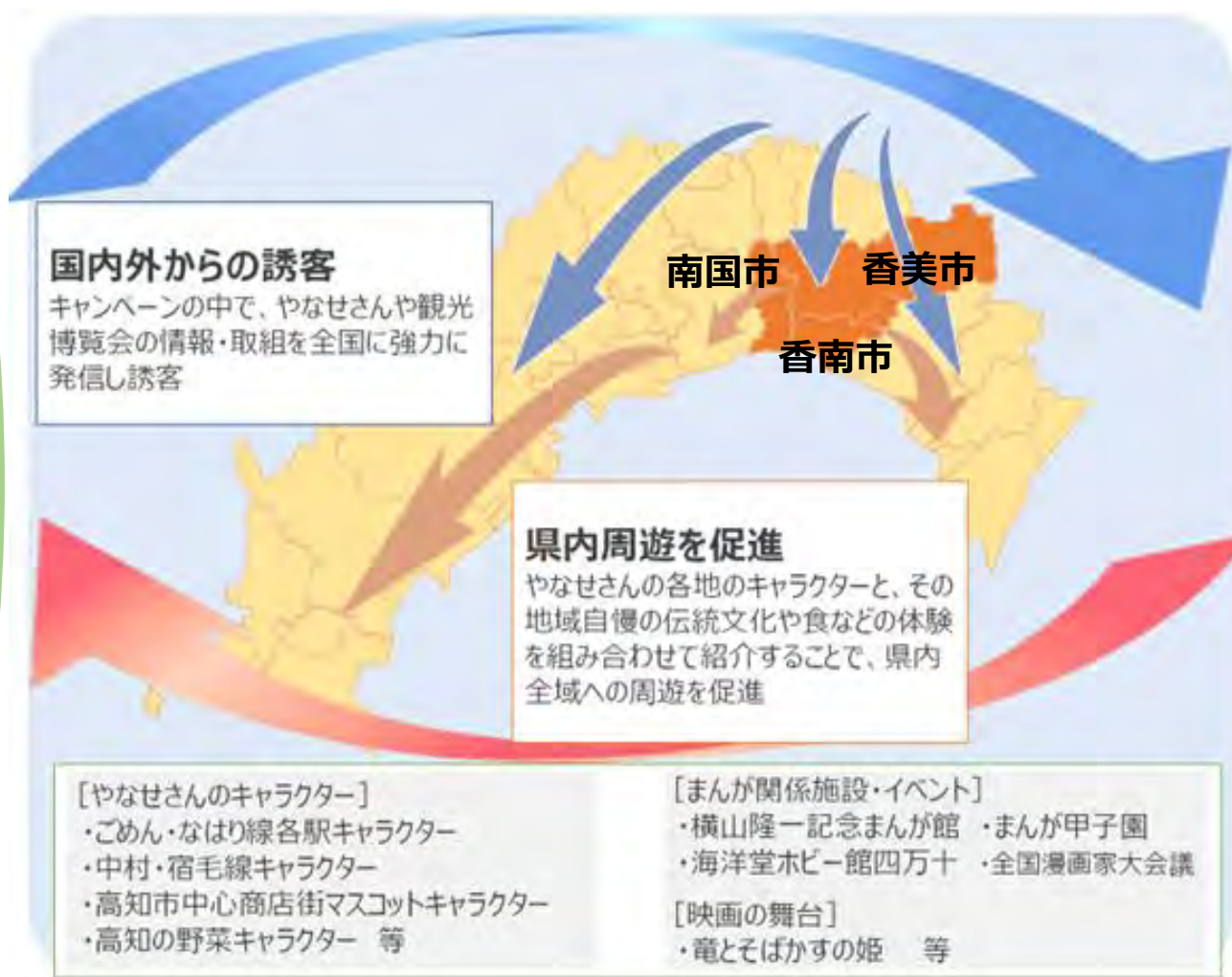
【4年後(R9)に目指す姿<目標値>】

- 「心からの息抜き」や「新しい発見」ができる場所として高知県が認識されている
- 夜間や閑散期のコンテンツが充実し、消費拡大につながっている
<県外観光客入込数=R4:370万人⇒470万人>
- ベリリピーターの囲い込みができている
<龍馬バスポートのシルバーへのランクアップ者数=R4:1,550人⇒3,000人>

3. 観光

③高知県の最近の観光政策＝「あんぱん」を生かした観光振興の展開イメージ

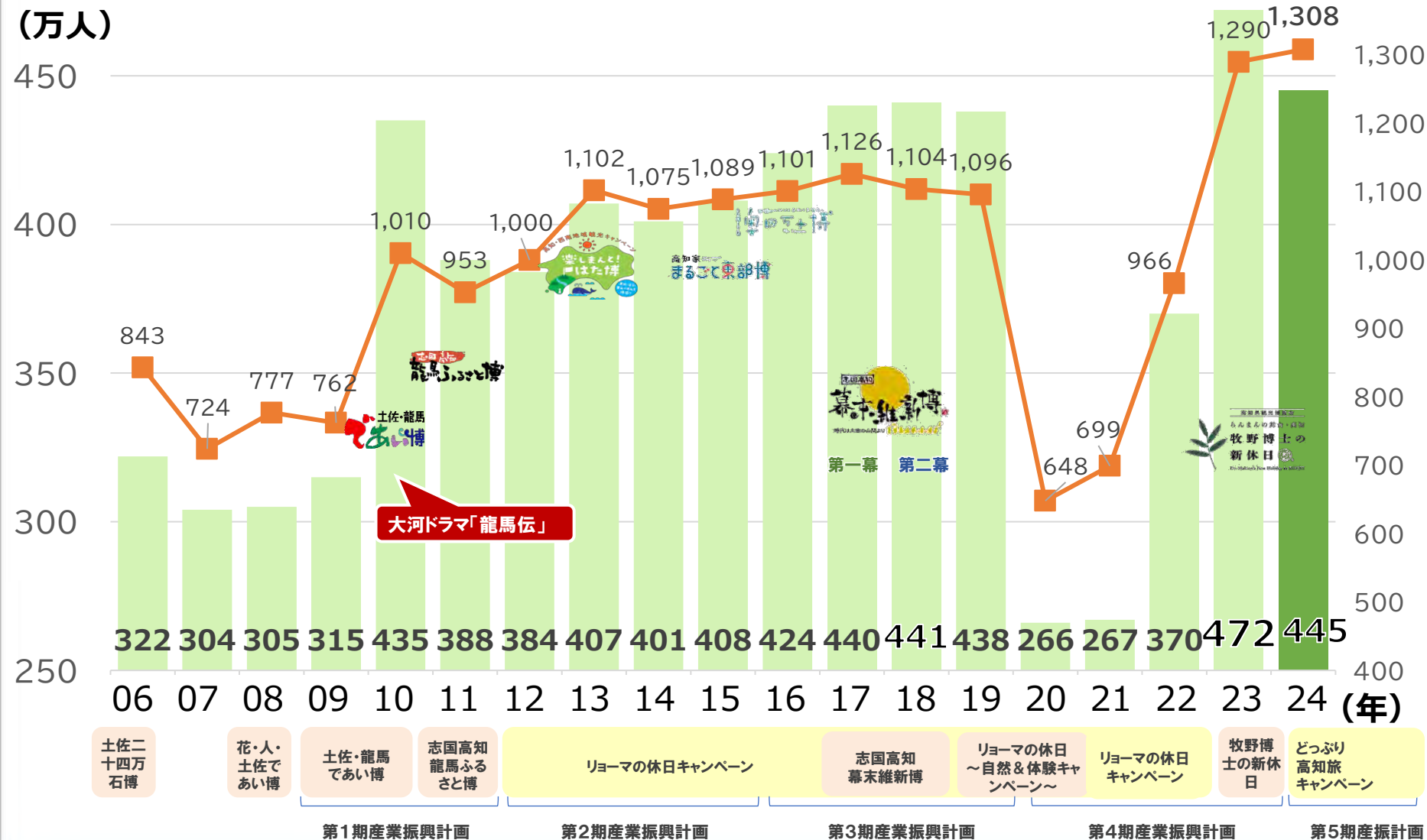
キャンペーン
〜高知旅



物部川エリア
観光博

3. 観光

④観光統計 ①県外観光客の入込数（左軸）及び総消費額（右軸）（億円）



3. 観光

④観光統計 ②高知県の交通機関別県外観光客入込数（推計値）

利用交通機関		令和6年入込数(人)		令和5年入込数(人)		対前年比	
		(2024年)	構成率	(2023年)	構成率	増減数(人)	比率
鉄道		107,796	2.4%	107,892	2.3%	▲ 96	99.9%
航空機		143,481	3.2%	144,528	3.1%	▲ 1,047	99.3%
自動車	高速バス	78,991	1.8%	74,883	1.6%	4,108	105.5%
	乗用車	2,940,327	66.0%	3,148,102	66.7%	▲ 207,775	93.4%
	観光バス	882,509	19.8%	937,714	19.9%	▲ 55,205	94.1%
チャーター機		18,260	0.4%	11,903	0.3%	6,357	153.4%
客船		74,600	1.7%	76,339	1.6%	▲ 1,739	97.7%
その他 (バイク、自転車 徒歩 等)		207,655	4.7%	220,656	4.7%	▲ 13,001	94.1%
県外観光客入込数 計		4,453,619	100%	4,722,017	100%	▲ 268,398	94.3%

※各交通期間の構成率の計は、四捨五入の関係で100%とならない場合がある。

3. 観光

④観光統計 ③高知県の県外観光客の総消費額（アンケート調査結果）

	2024年	2023年	24年-23年	対23年増減率
県外観光客総数(人)	4,453,619	4,722,017	▲ 268,398	▲ 5.7%
県外観光客一人当たり消費額(客船除く)(円)	29,717	27,639	2,078	7.5%
<内訳> 宿泊費	8,987	8,497	490	5.8%
飲食費	6,763	6,340	423	6.7%
交通費	8,738	7,890	848	10.7%
土産	4,219	3,982	237	6.0%
その他	1,010	930	80	8.6%
県外観光客の総消費額 (百万円)	130,816	129,075	1,741	1.3%

※県内10調査地で四半期ごとに実施した、県内の観光地を訪れた観光客各100人への聞き取り調査(年間4,000サンプル)結果による一人当たり平均消費額及び県外観光客入込数(推計値)に基づき算出

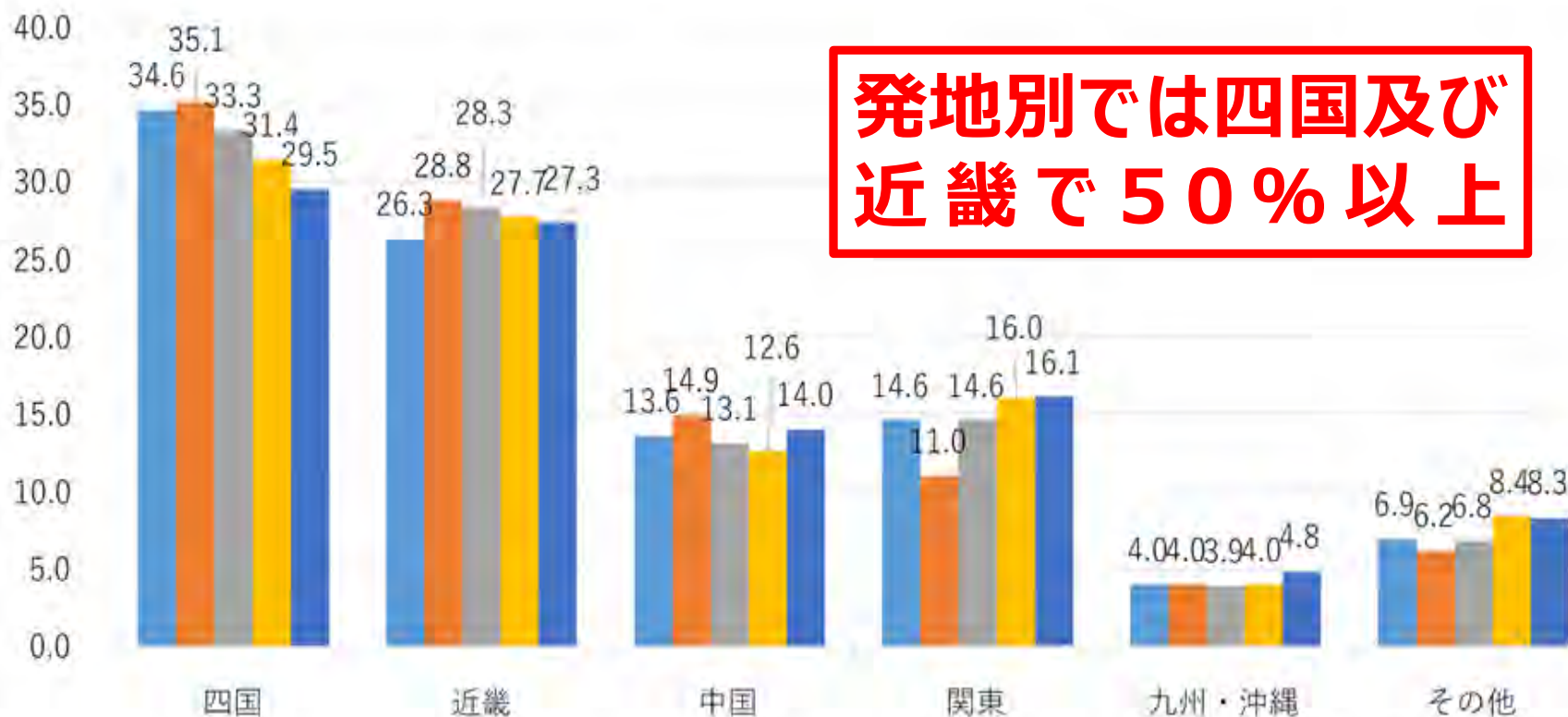
〈調査地〉室戸岬、北川村モネの庭マルモッタン、龍河洞、アンパンマンミュージアム、高知城、桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川、足摺岬

3. 観光

④観光統計 ④発地別の観光客の入込割合（アンケート調査結果）

高知県を訪れる観光客の地域(ブロック)別割合(%) (2019-2023年の推移)

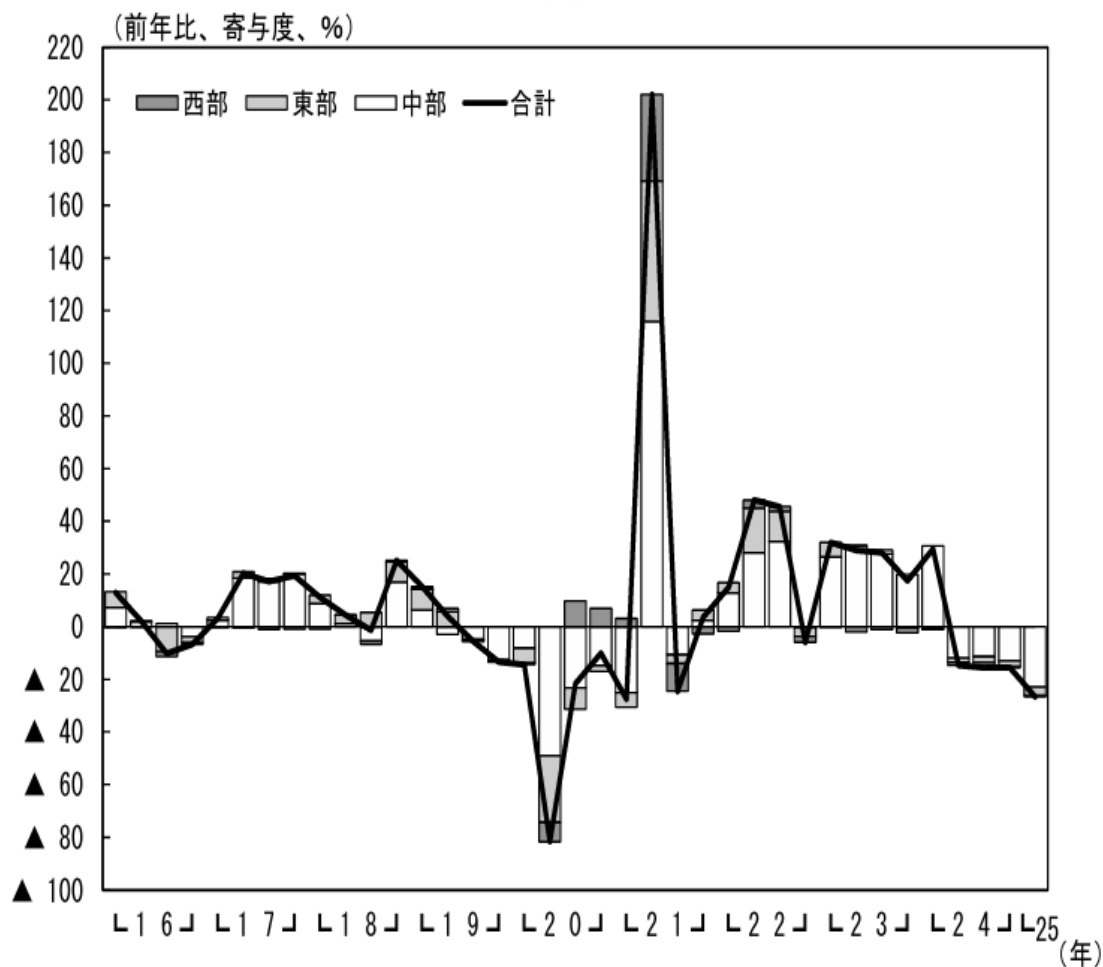
■ 19年 ■ 20年 ■ 21年 ■ 22年 ■ 23年



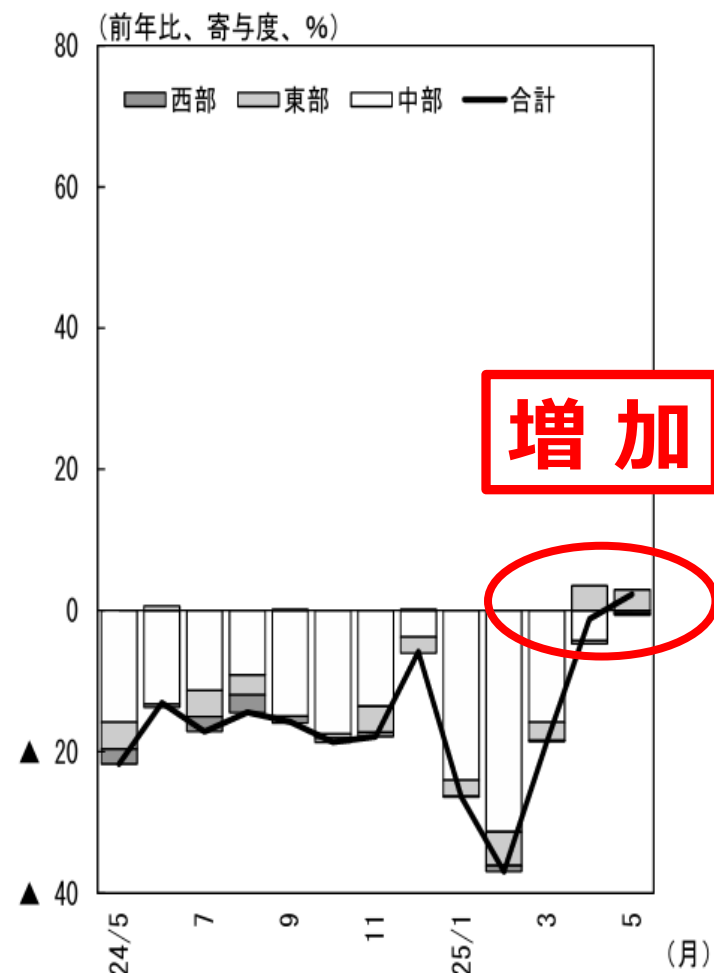
3. 観光

④観光統計 ⑤主要観光施設入込客数（高知県）

＜四半期ベース＞



＜月次ベース＞



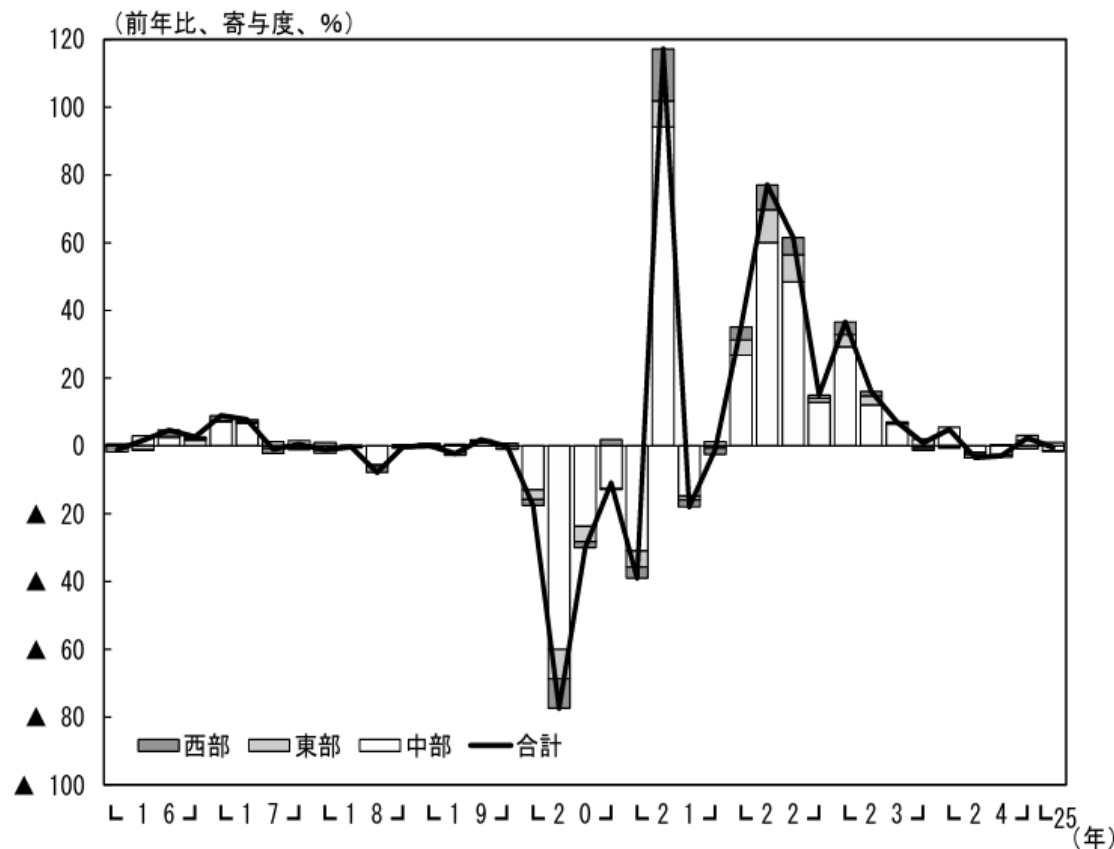
(注) 集計対象先について随時見直しを行っているため、計数は必ずしも連続しない。2024年以降は速報値。

(出典) 日銀高知支店、高知県「月別観光施設利用実績」

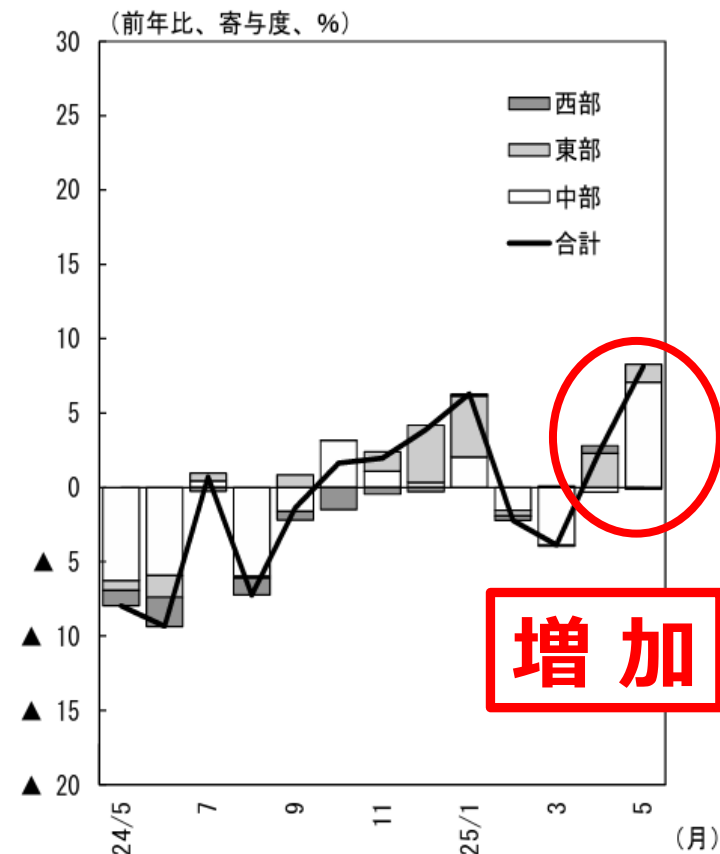
3. 観光

④観光統計 ⑥主要旅館・ホテル宿泊客数（高知県）

＜四半期ベース＞



＜月次ベース＞



(注) 1. 集計対象先について随時見直しを行っているため、計数は必ずしも連続しない。直近見直し後は高知県内38 先ベース。

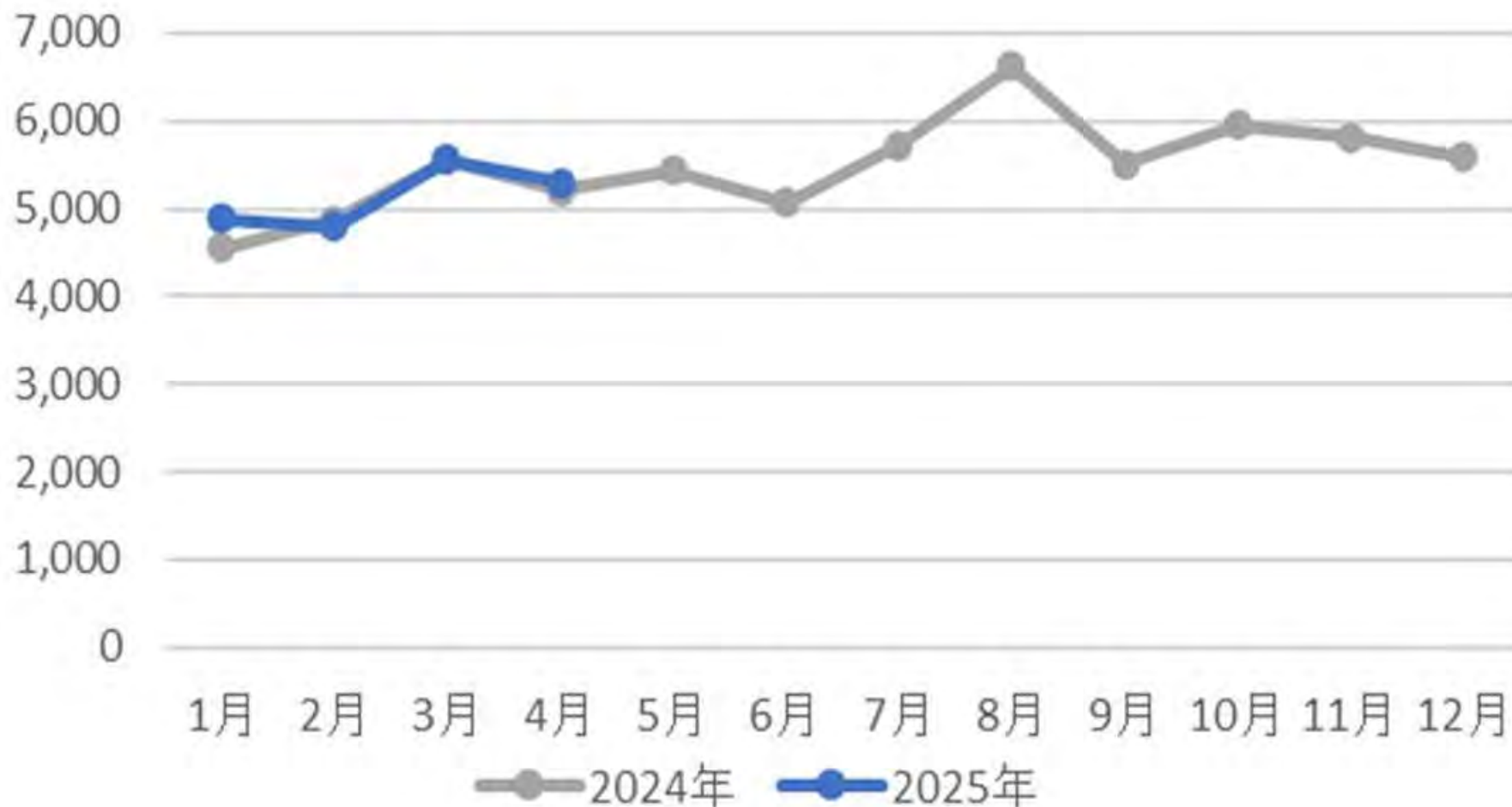
2. 前年同月比は、既存先ベースの値（既存先ベースとは、集計対象先の変更等があった場合、前年同月比を当年および前年とも集計の対象となった先のみで算出したもの）。また、四半期ベースの算出は、月次の既存先の集計額の積み上げによって計算している。

(出典) 日本銀行高知支店

3. 観光

④観光統計 ⑦月別延べ宿泊者数（日本人と外国人の合計・全国）

（万人泊）

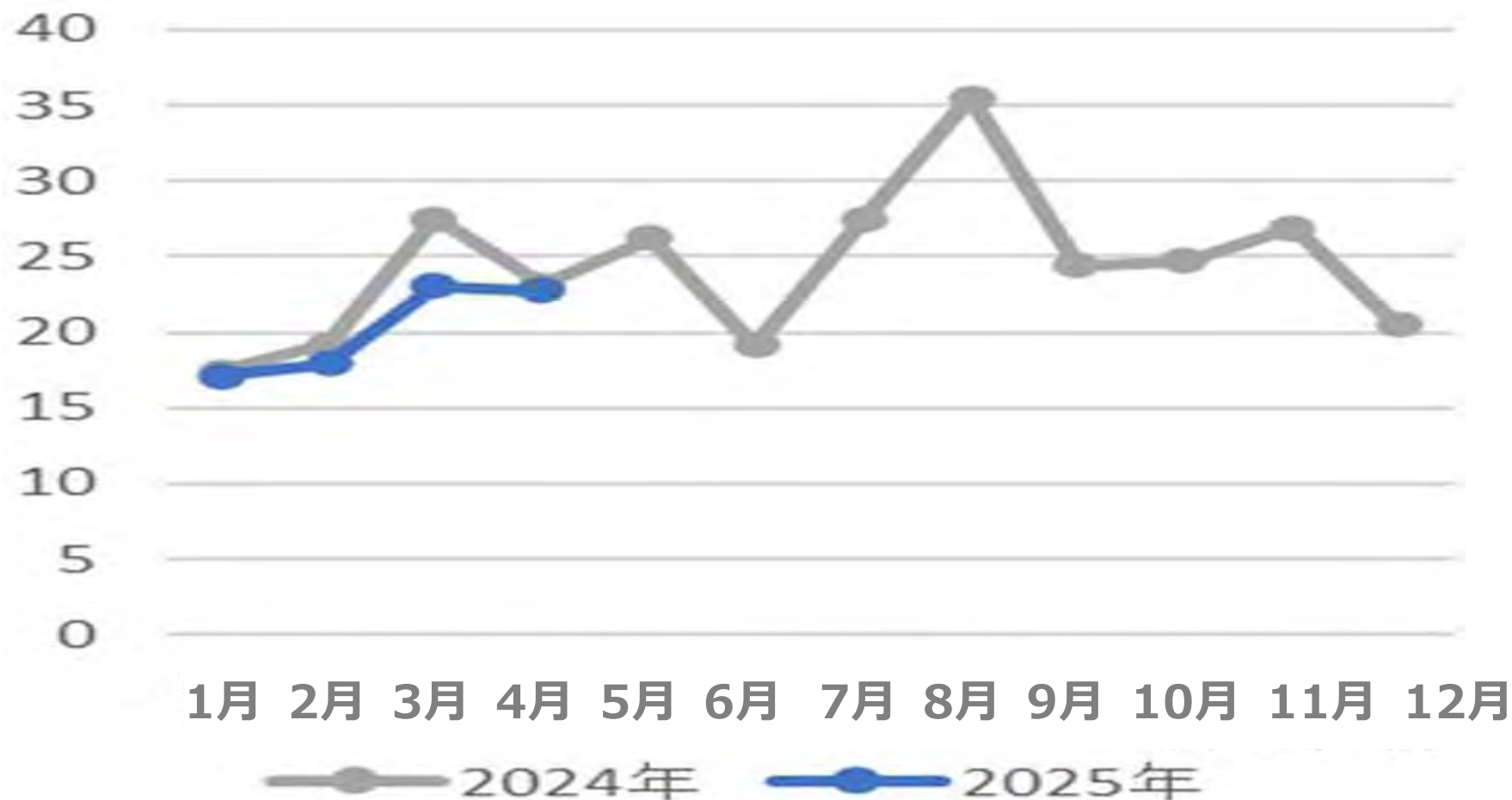


（出典）国土交通省四国運輸局「宿泊旅行統計調査」

3. 観光

④観光統計 ⑦月別延べ宿泊者数（日本人と外国人の合計・高知県）

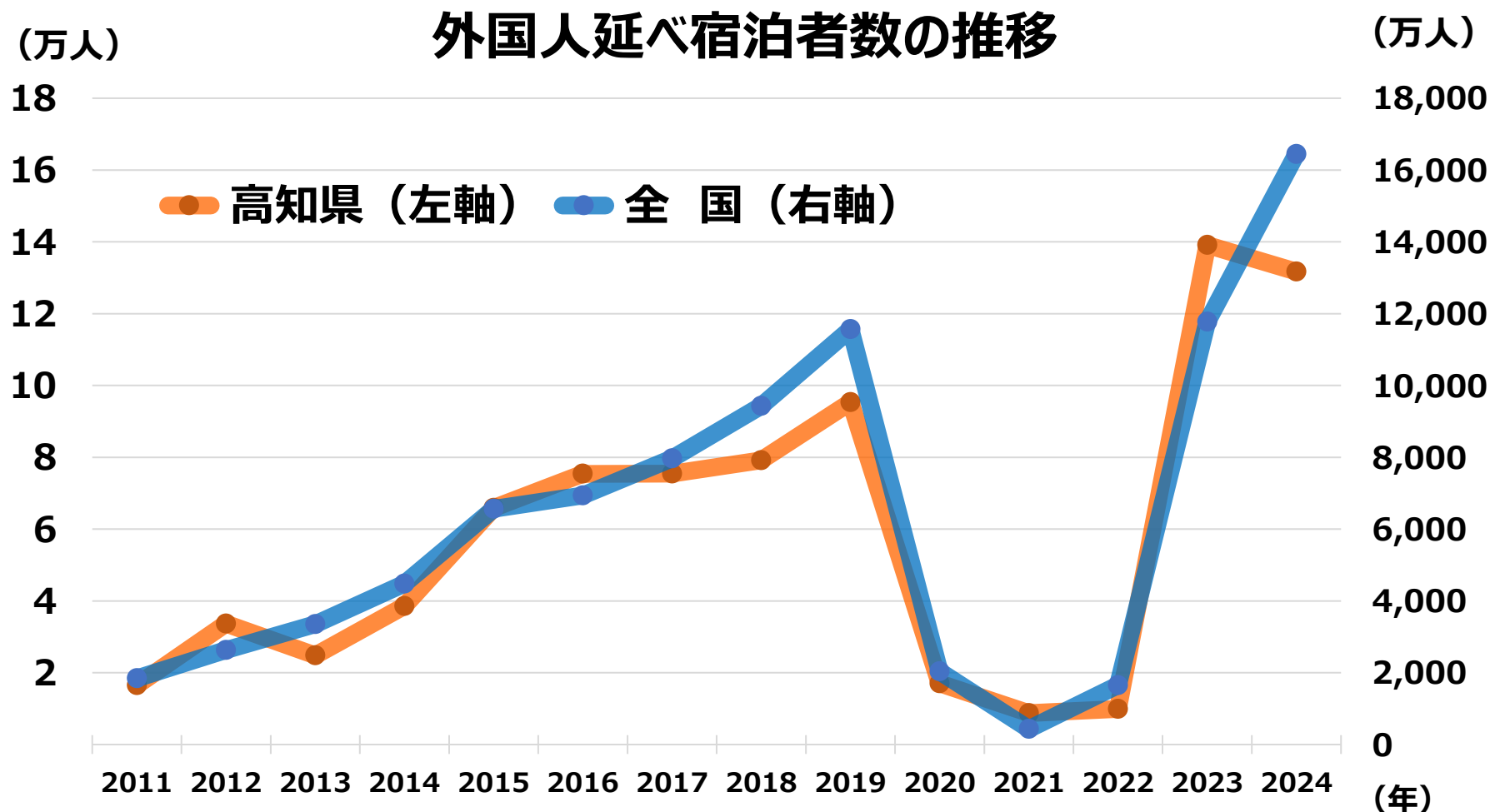
（万人泊）



（出典）国土交通省四国運輸局「宿泊旅行統計調査」

3. 観光

⑤インバウンドの状況 ①外国人延べ宿泊者数（全国及び高知県）

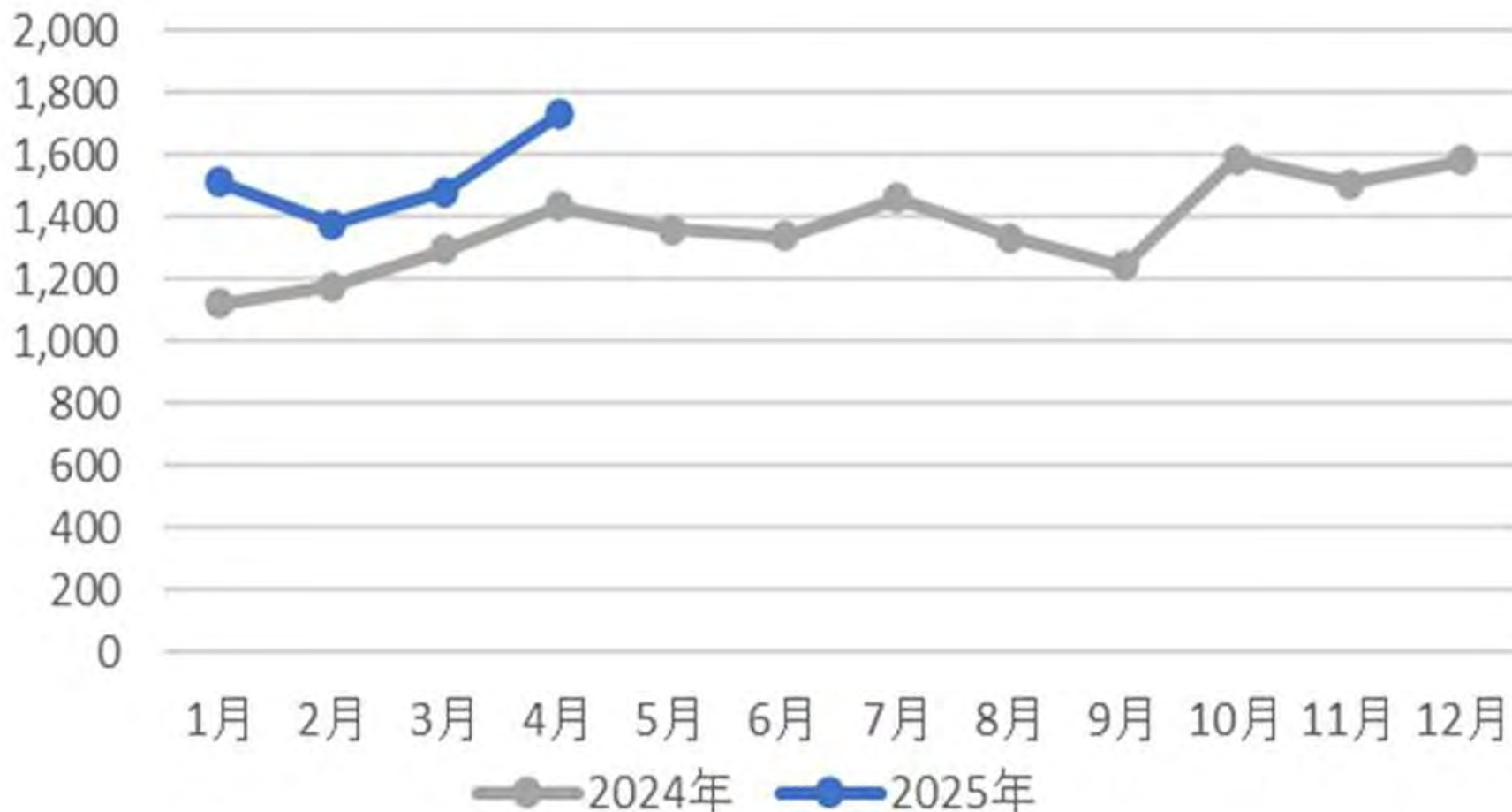


(出典) 国土交通省四国運輸局「宿泊旅行統計調査」

3. 観光

⑤インバウンドの状況 ②外国人月別延べ宿泊者数（全国）

（万人泊）

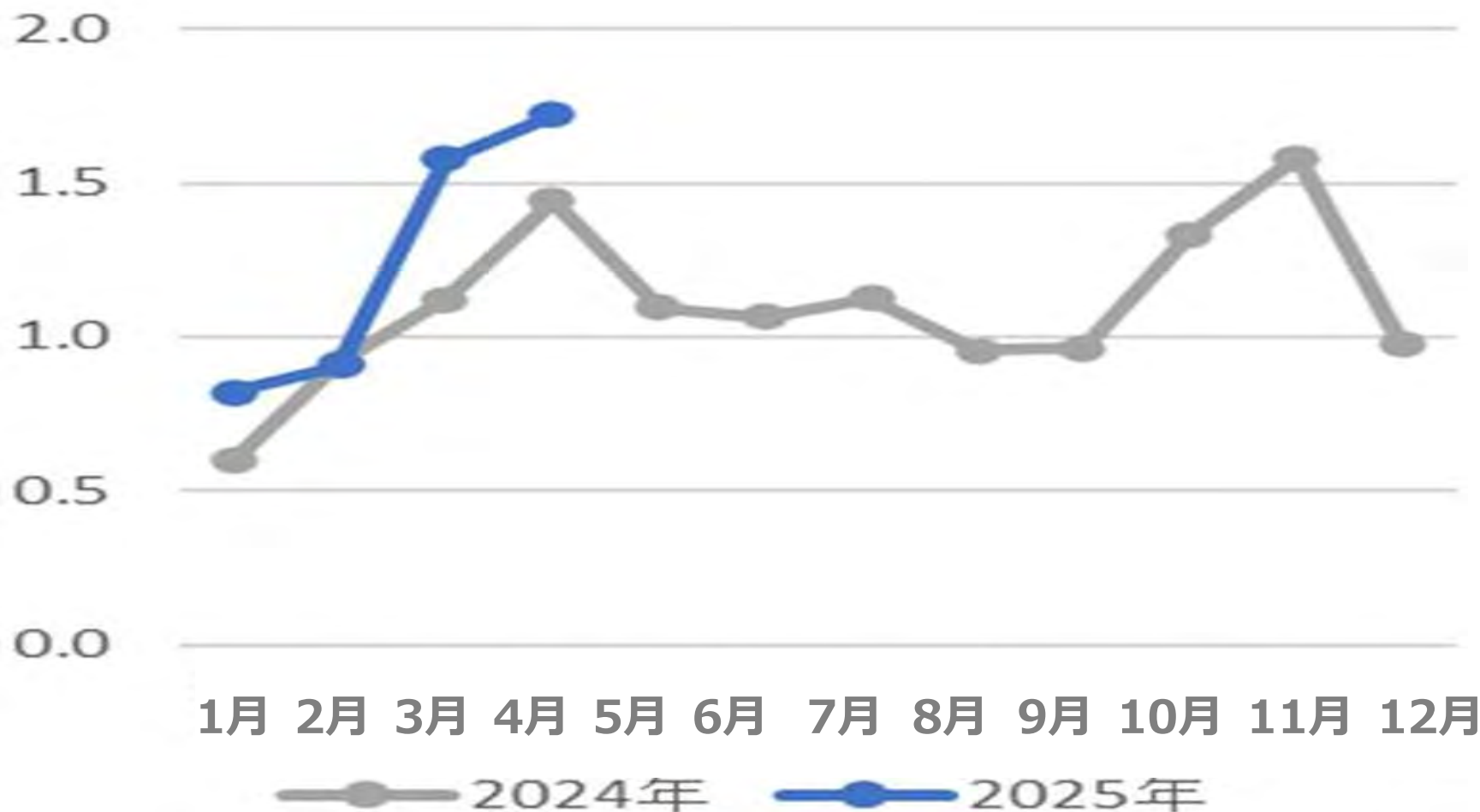


（出典）国土交通省四国運輸局「宿泊旅行統計調査」

3. 観光

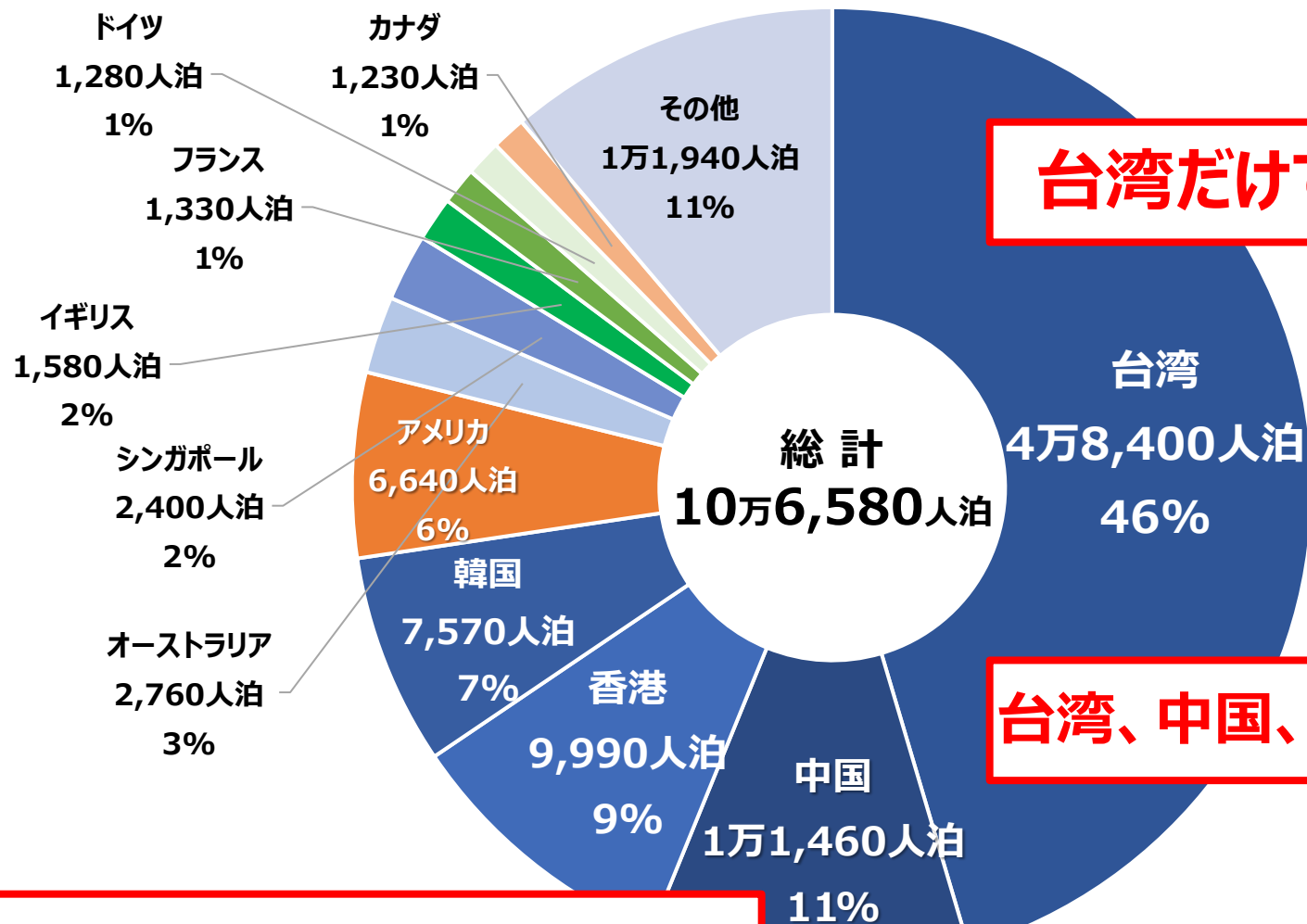
⑤インバウンドの状況 ②外国人月別延べ宿泊者数（高知県）

(万人泊)



3. 観光

⑤インバウンドの状況 ③出身国・地域構成比（高知県・2024年）



台湾だけで50%弱

台湾、中国、香港で66%

台湾、中国、香港、韓国で73%

3. 観光

⑤インバウンドの状況 ④台湾－高知定期チャーター便の就航状況

【チャーター便概要】

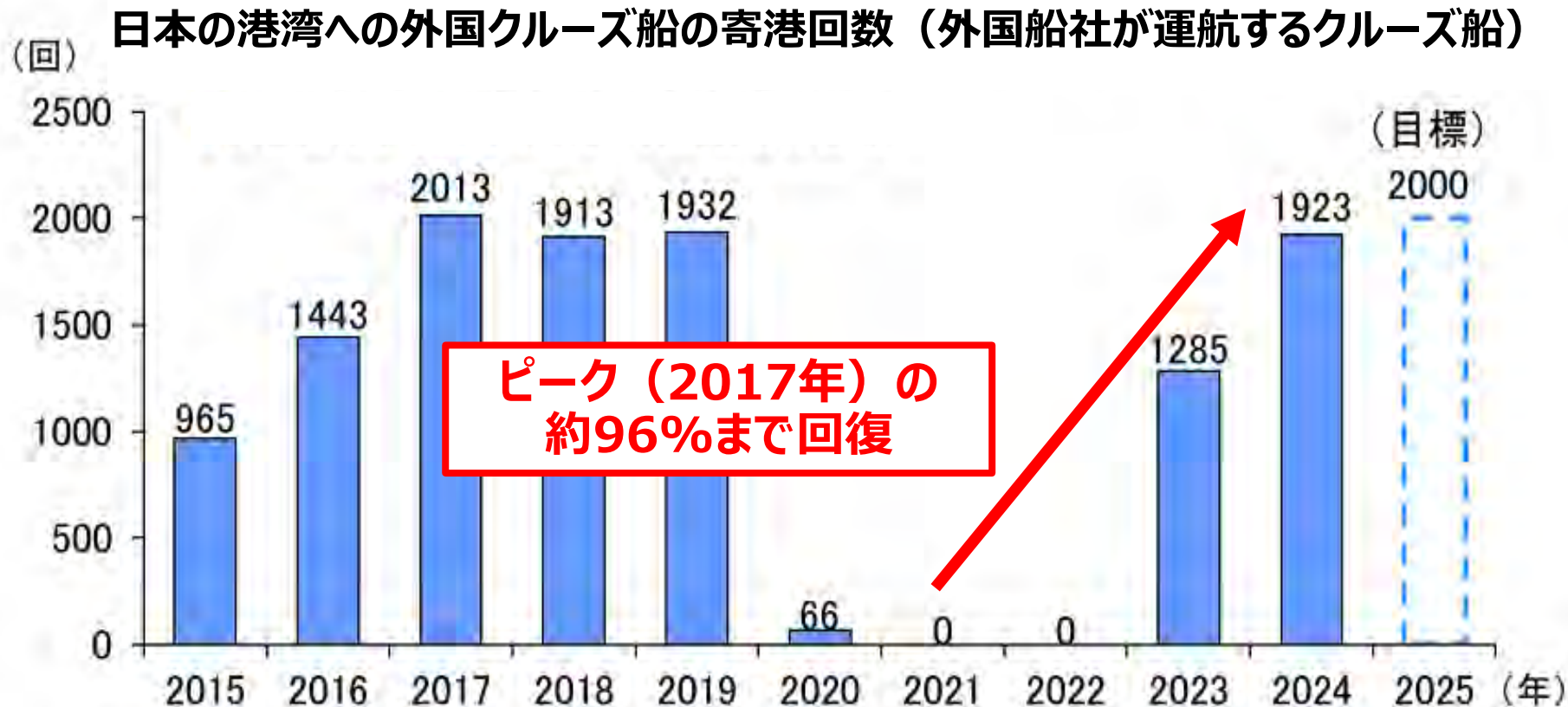
- 期間：令和5年5月10日～
令和8年3月28日
- 便数：週2便往復（水、土）
- 旅行会社：スタートラベル
（台湾発団体ツアー販売）
- 航空会社：タイガーエア台湾
- 座席数：180席
（個人向け座席販売・1機あたり36席）
- 平均搭乗率：約95%
（令和5年5月～令和7年6月）



3. 観光

⑥クルーズ船の動向 ①日本への外国クルーズ船の寄港回数

- 2024年の日本への外国クルーズ船（外国船社が運航するクルーズ船）の寄港回数は、前年比約1.5倍の1,923回となり、コロナ前ピーク水準（2017年）の約96%まで回復。
- 観光立国推進基本計画では、2025年で2,000回を目標値としている。



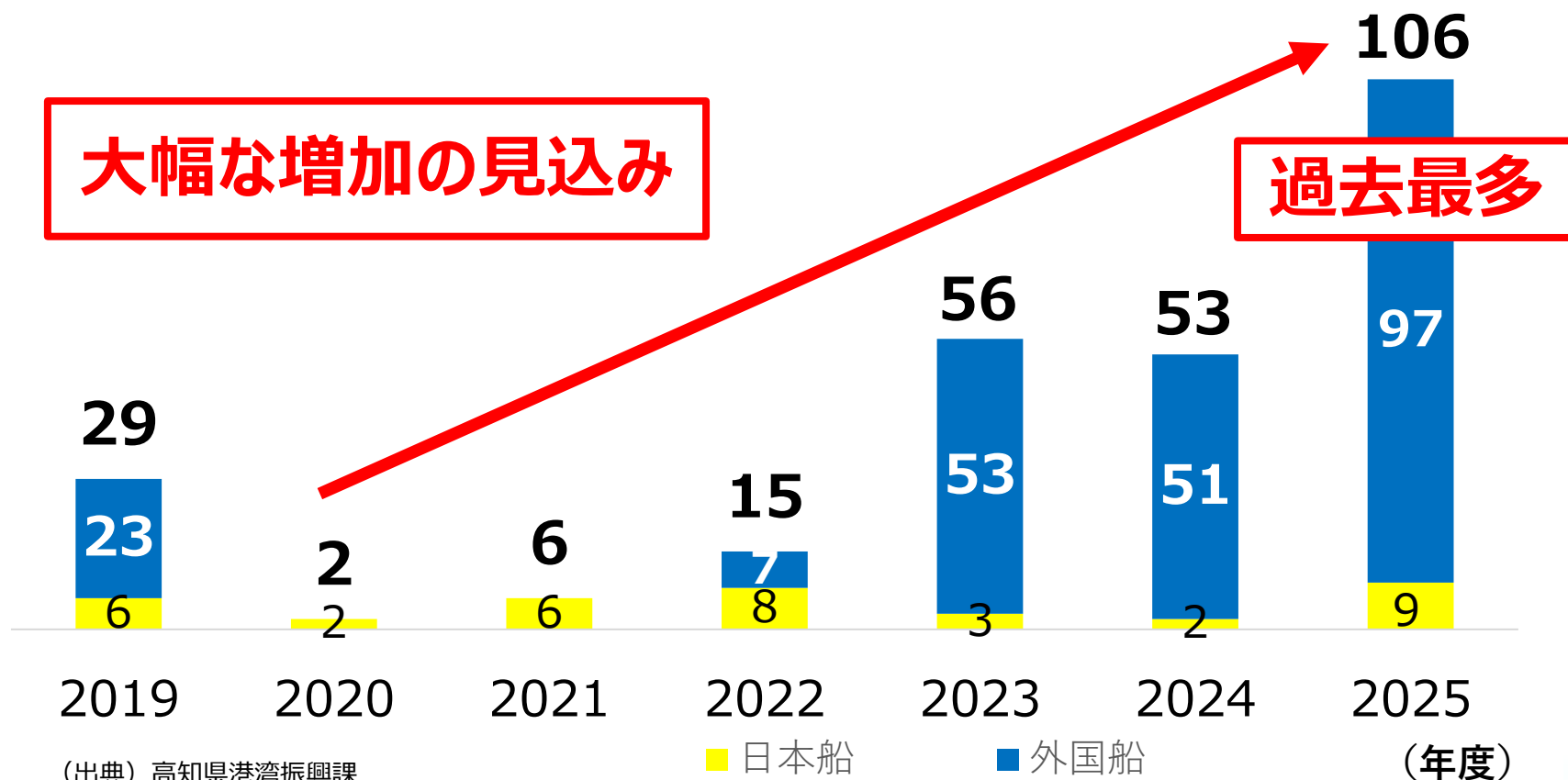
（出典）国土交通省「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数（2024年速報値）」

3. 観光

⑥クルーズ船の動向 ②高知新港へのクルーズ船の寄港回数

- 2024（令和6）年度の高知新港へのクルーズ船の寄港回数（日本船及び外国船）は53回、2025（令和7）年度には106回と大幅な増加の見込み（2025年度は2025年7月31日現在の数値で予約を含む）。

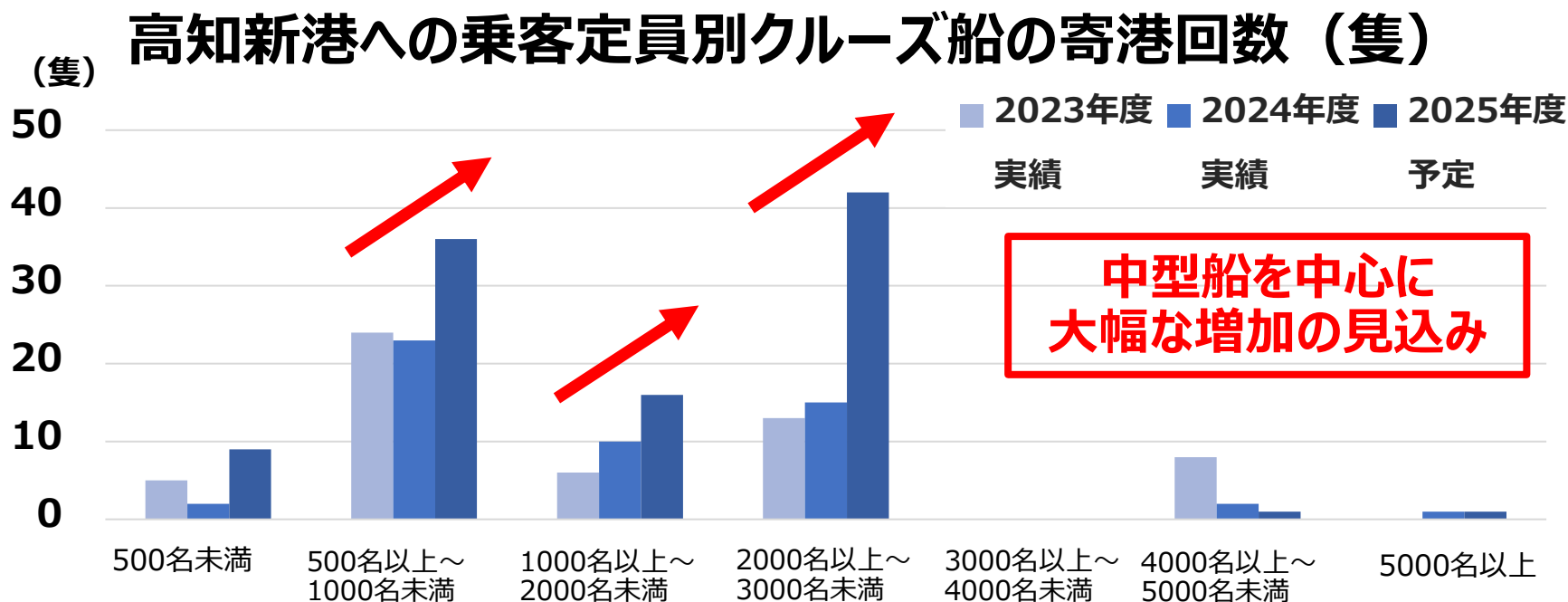
高知新港へのクルーズ船の寄港回数（隻）



3. 観光

⑥クルーズ船の動向 ③高知新港に寄港するクルーズ船の規模（乗客定員）と寄港回数

- 高知新港に寄港するクルーズ船（日本船及び外国船）の規模（乗客定員）は1000名～3000名の中型が多く、2025（令和7）年度には寄港回数が大幅に増加する見込み（2025年度は2025年7月31日現在の数値で予約を含む）。



**高知新港に寄港予定のクルーズ船の乗客定員を合計すると
2024（R6）年度8.7万人⇒2025（R7）年度16.9万人の見込み**

3. 観光

(参考) 四国のゴールデンルート

1 おもてなし

～四国最大の魅力は、おもてなしの心～四国遍路の文化

2 多様性

～日本の原風景が凝縮 海・山・川の多彩な自然・体験～

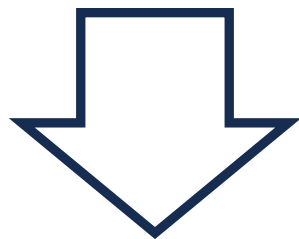
3 周遊

～島ならではの巡る楽しさ～



3. 観光

「あんぱん」効果やクルーズ船の寄港増加



観光関連産業等への好機

ご清聴ありがとうございました。



地域と共に未来を創造する

(株) 四銀地域経済研究所

〒780-0823 高知市菜園場町1-21

Tel : 088-883-1152 (代表)

Mail : shigincr@crux.ocn.ne.jp